



Go-JIN^{ゴウジン}

高靱性環境対応型ウレタン塗膜防水

vol. 16

Go-JIN —ゴウジン—

「剛—ゴウ」なる強さ(高強度)と「靱—ジン」なるしなやかさ(高伸長)を併せ持つ、バランスの取れた新設計。
高靱性環境対応型ウレタン塗膜防水が実現する、メッシュフリー工法が登場しました。



剛
高強度

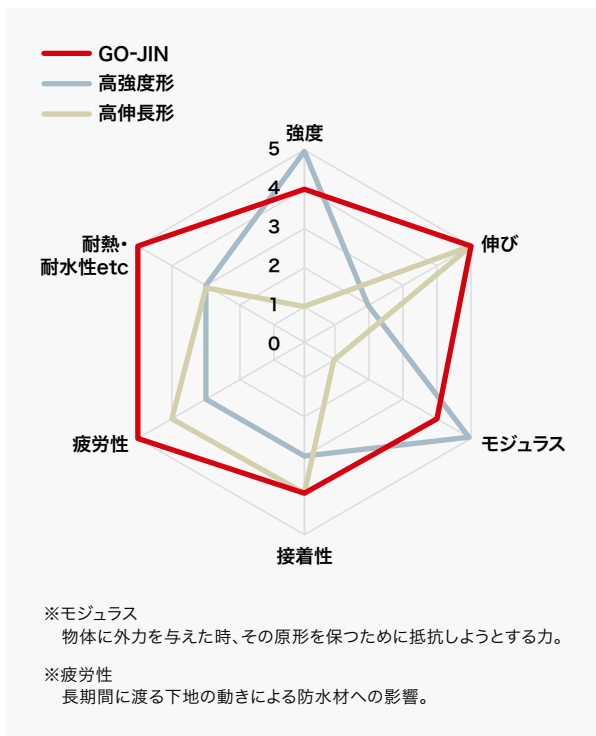
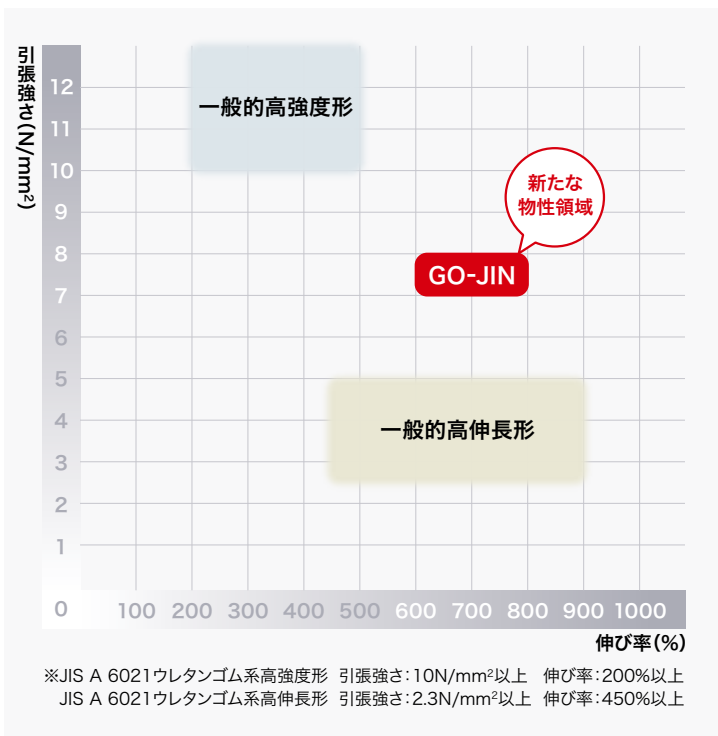
靱
高伸長

だから

メッシュフリー



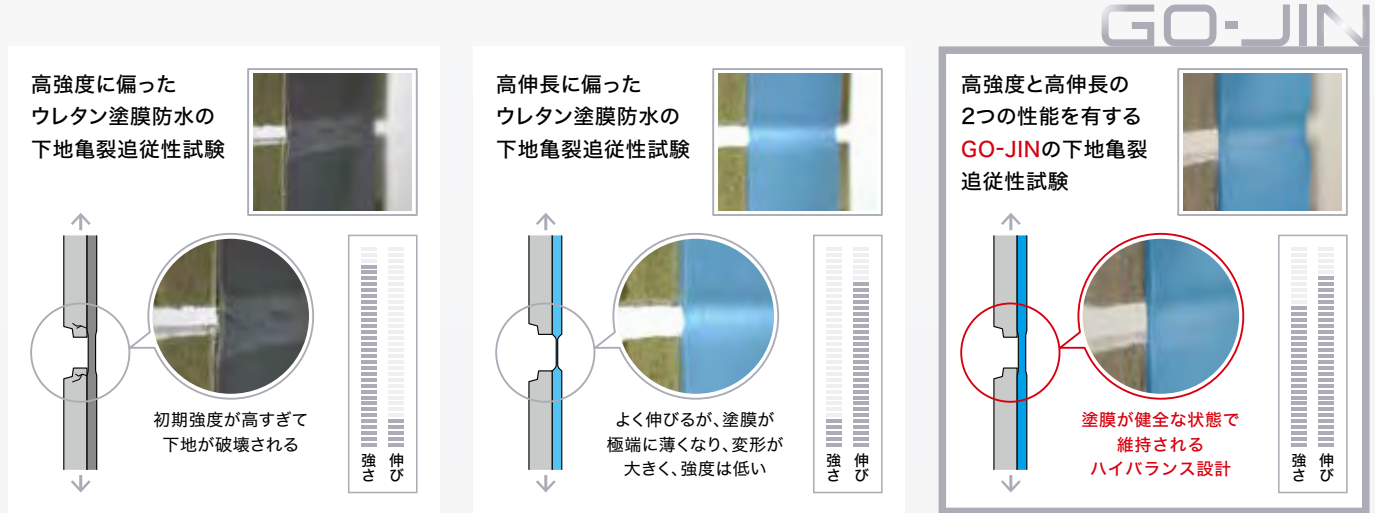
一般的な高強度形・高伸長形と異なる、新たなウレタン防水材「GO-JIN」



「剛」の強さと「靱」のしなやかさを発揮する新たな設計

高強度と高伸長の2つの性能を有するハイバランス設計

高強度と高伸長の2つの性能を有するGO-JINは、下地に亀裂が生じた場合も理想的な塗膜変形となり、亀裂箇所に応力が集中しないため、従来のウレタン防水と比較してより長期に塗膜の耐久性を発揮します。



メッシュフリーでもメッシュ補強工法を大きく上回る性能

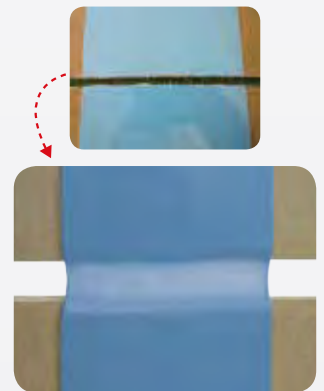
下地亀裂追従性はウレタン塗膜防水の性能の中で最も重要な指標のひとつです。GO-JINは下地亀裂追従性に優れ、その破壊エネルギーは2mm厚であってもウレタン塗膜防水メッシュ補強工法3mm厚を大きく上回る(下表参照)ことから、メッシュがなくても十分な性能を有しているといえます。

低速ゼロスパン下地追従性

仕様	最大点			破断点		破壊エネルギー※(J)
	材料	塗膜厚み(mm)	強度(N/100mm)	伸び(mm)	強度(N/100mm)	
GO-JIN V	2	593.5	20.7	583.7	22.1	11.1
オルタックエースメッシュ補強工法	3	1097.7	1.7	425.2	14.9	6.6

※破壊エネルギー：下地に固定させた上記試験において、塗膜が破断するまでに要する力(エネルギー)

オルタックエースメッシュ補強工法の破断状況



GO-JIN V 伸びて強い

最先端の環境対応

- ・特定化学物質障害予防規則(特化則)に該当していません。
- ・厚生労働省、文部科学省などでシックハウス(室内空気汚染)の原因として指定されている物質を含有していません。
- ・シックハウスへの対応として、最高評価のF☆☆☆☆を取得しています。

※GO-JINの環境対応の詳細については30ページをご参照ください。

攪拌状態が一目で見てわかる品質設計

- ・主剤、硬化剤それぞれに着色することで、攪拌状態が一目で確認できます。



主剤

+



硬化剤

=



混合液

配合比
主剤 硬化剤
1:1.5

Go-JINは更なる進化へ

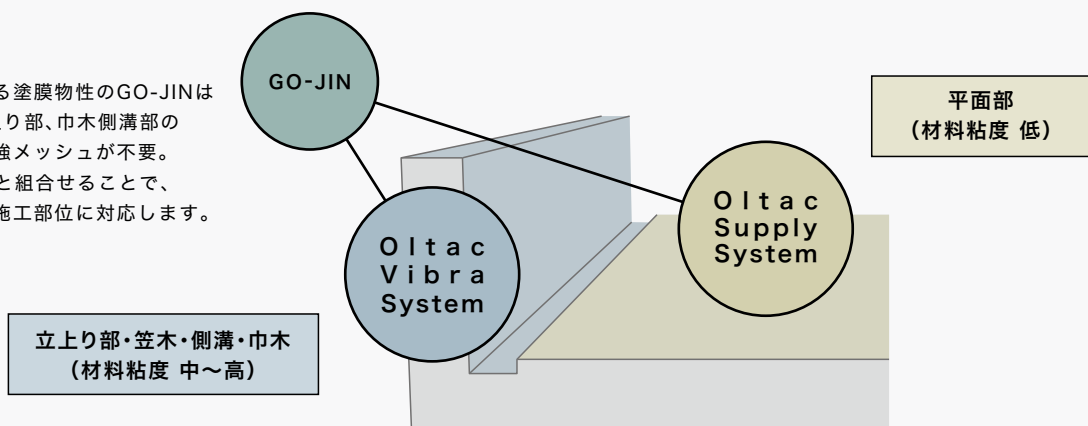
高強度と高伸長の2つの性能(高靱性)を併せ持ち、メッシュフリーを実現したGO-JIN。
自動混合を行う機械化システムとの組合せで、品質向上と作業効率改善を実現します。

剛靱
高靱性メッシュフリー
×
機械化
システム
だから
省力化・高品質

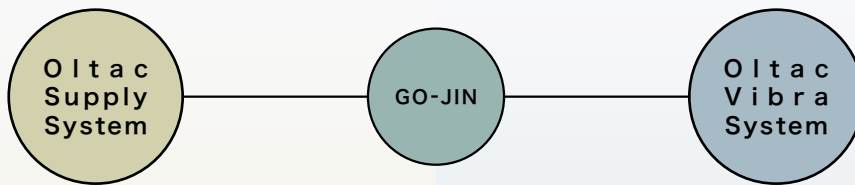
低粘度から高粘度まで、すべてを機械化対応

平面部用の低粘度ウレタン向け自動混合圧送システム(OSS)に加え、
新たに立上り用や巾木側溝用の中・高粘度ウレタンに対応した自動混合システム(OVS)を開発しました。

靱性に優れる塗膜物性のGO-JINは
平面部、立上り部、巾木側溝部の
いずれも補強メッシュが不要。
OSS、OVSと組合せることで、
さまざまな施工部位に対応します。



高靱性メッシュフリーと機械化(自動混合)



自動混合・圧送システム

Oltac Supply System 「OSS」

専用ポンプ車で材料を強力圧送するサプライシステム。
大面積の施工に圧倒的な威力を発揮。

材料粘度 低



高速振動・自動混合システム

Oltac Vibra System 「OVS」

高速振動によってウレタンの主剤と硬化剤を自動混合する画期的マシン。場所を取らないコンパクト設計で取扱いが容易です。

材料粘度 中～高



※関東地区から運用開始になります

省力化の実現

材料の計量・攪拌が
不要



材料の荷揚げが
不要



廃材を大幅削減



手動攪拌が不要



材料の計量・攪拌が不要

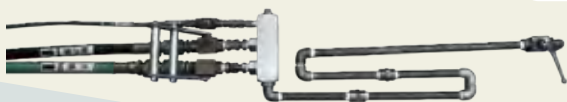


攪拌機の
洗浄作業が不要



高品質な防水層を形成

OSSでは、確実な混合を行うために内部に独特な形状のエレメント(14ページ参照)を組み込んだスタティックミキサーを先端部に採用しています。



混合不良のない
メカニズム

Vibraでは、主剤を投入した硬化剤缶をマシン内で高速振動させることで容器内の2液に流動が発生し、隅々まで均一に混合します。1セットごとに自動混合するので、計量ミスも生じません。



ウレタン塗膜防水の主剤、硬化剤を混合する際に、プロペラ型の攪拌機を用いると、エアを巻き込みやすくなる場合があります。
スタティックミキサーやVibraによる混合液は、エアの巻き込みが全くなく、高品質な塗膜を確実に形成することができます。

エアの巻き込みが生じない



エアを巻き込まないので
密な防水層となる



エアを巻き込んで硬化してしまうと
密な防水層とならない

※エアの巻き込みを再現した塗膜断面をマイクログラフで拡大

カタログの見方

アイコンの説明



歩行

不特定の人が多目的に使用



軽歩行

特定の人が特定の用途に使用



非歩行

メンテナンス程度の使用



密着工法

ウレタン防水層を下地に直接密着させる工法



通気緩衝複合法工法

下地からの湿気を通気、拡散し下地の動きを緩衝する工法



接着固定

通気緩衝シートを接着剤で下地に固定する

仕様番号の見方

GO

ゴウジン

W

工法

W

複合法工法
(無印)

密着工法

D

増塗り工法

-

2

防水材使用量

1

1.5kg/m²

2

2.6kg/m²

V

防水材種別

V

GO-JIN V

T

GO-JIN T

HS

GO-JIN HS

A

保護塗料

A

OTコートA

QA

速硬化OTコートA

S

OTコートシリコーン

SC

OTコートシリコーンクール

QS

速硬化OTコートシリコーン

C

OTコートクール

F

OTコートフッ素

FC

OTコートフッ素クール

SK

OTコート水系

TH

SPサーモコート

B

OTコート防カビ

SB

OTコートシリコーン防カビ

OSS

自動混合・圧送

適用部位

適用部位・用途	工法	新築	改修
一般的な屋根、屋上	通気緩衝複合法工法・接着固定 (GOW-2VA)	○	○
既存ウレタン塗膜防水の屋上	密着工法 (GOD-2VA)	—	○
バルコニー、庇	密着工法 (GO-2VA)	○	○
	密着工法 (GOD-1VA)	—	○
パラペット、架台	密着工法 (GO-2TA)	○	○
	密着工法 (GOD-1TA)	—	○
巾木、側溝	密着工法 (GO-1HSB)	○	○
屋上、バルコニー	自動混合圧送システムOSS	○	○

CONTENTS

7-8

通気緩衝複合法・接着固定

9-12

密着工法

13

自動混合・圧送システム OSS

15

材料の組合せ

16

材料の塗り重ね

17

材料の乾燥・硬化時間

18

硬化促進剤の使用方法について

19-22

材料紹介

23-24

材料一覧

25

保護塗料

27

注意事項

30

環境対応について

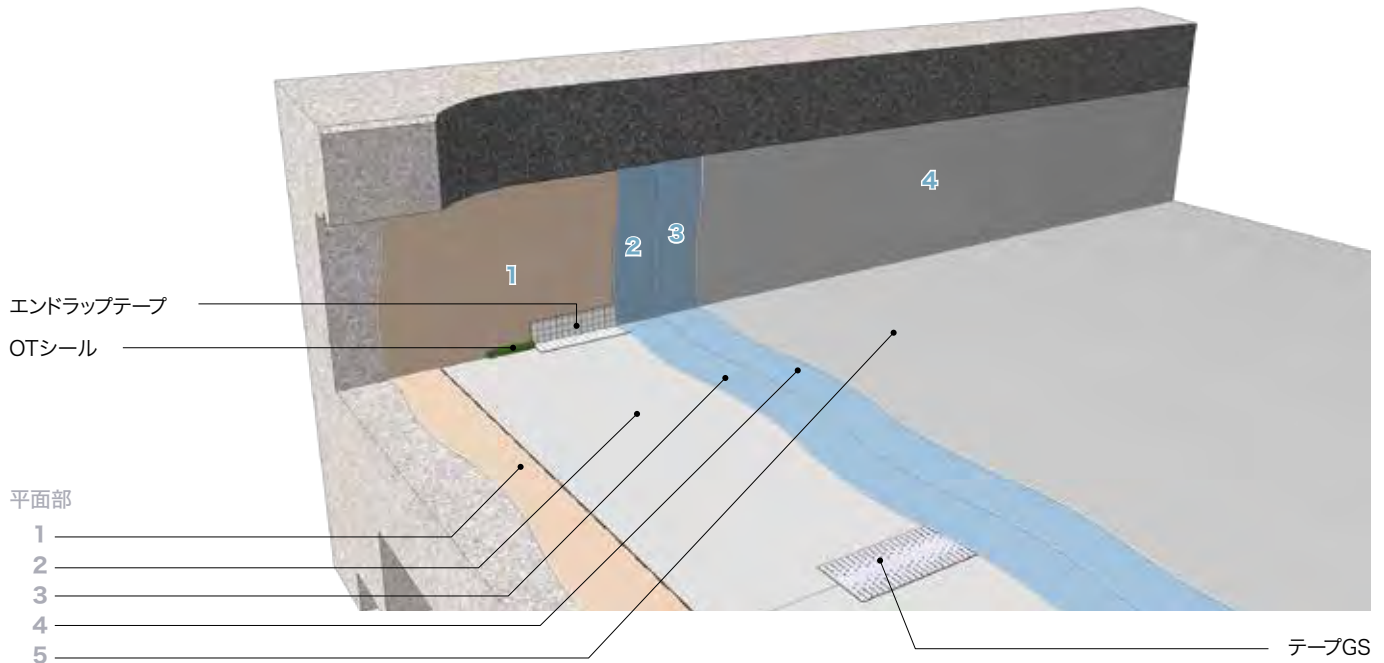
通気緩衝複合工法・接着固定

屋上やルーフバルコニーに用いる通気緩衝工法

GOW-2VA

新築

改修



GOW-2VA



平面部			立上り部		(単位: /m ²)
1	OTプライマーA	0.2kg	OTプライマーA	0.2kg	
2	オルタックシートGS	—	GO-JIN T	1.3kg	
3	GO-JIN V	1.3kg	GO-JIN T	1.3kg	
4	GO-JIN V	1.3kg	OTコートA	0.2kg	
5	OTコートA	0.2kg	—		

※立上り部工程1の後、入隅部、出隅部にはエンドラップテープを施工します。

※エンドラップテープの使用にあたっては、貼付け箇所の形状に応じて、50、100、200を使い分けてください。(29ページ参照)

注意事項

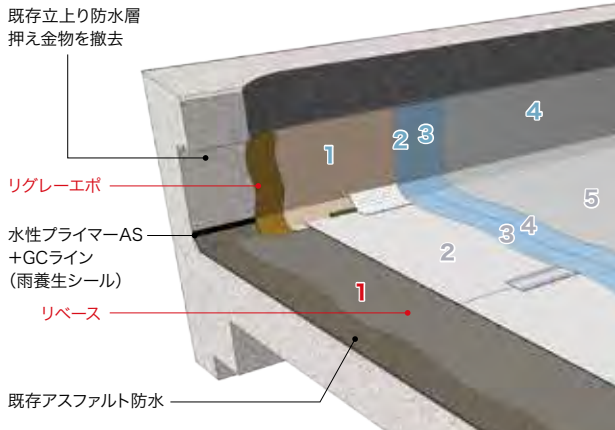
- ・気象条件や下地によって1工程目を使用するOTプライマーAを変更する場合があります。詳しくは、15ページをご覧ください。
- ・保護塗料はOTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については5ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・硬化促進剤は専用の「GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤」を使用してください。詳しくは、18ページをご覧ください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)
- ・防滑性能を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(1セットに対して1箱)してください。
- ・防滑処理後でも、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

GOW-2VA 改修時施工例

既存がアスファルト露出防水、塩ビシート防水の場合、通常は立上り防水層を撤去して下図〈標準施工〉を行います。
雨養生等の理由から撤去ができない場合は下図〈立上り部を撤去しない場合〉を参照し、施工を行ってください。

既存がアスファルト露出防水の場合

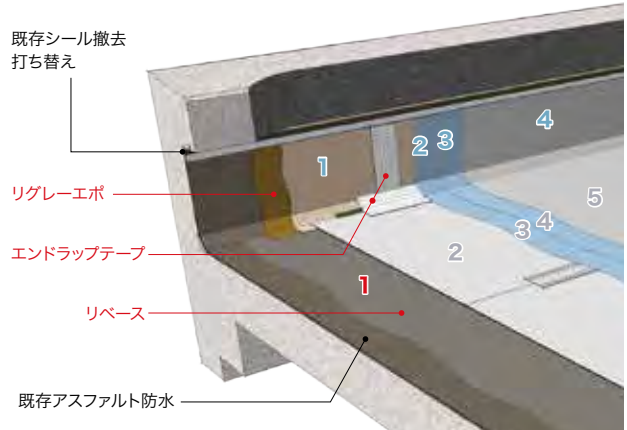
〈標準施工〉



GOW-2VAの工程を一部変更 (単位:/m²)

平面部	第1工程のOTプライマー-A(0.2kg)をリベース(下地活性剤)(0.8~1.2kg)に変更
立上り部	第1工程の前に下地処理としてリグレーエポを塗布(1.5kg)

〈立上り部を撤去しない場合〉



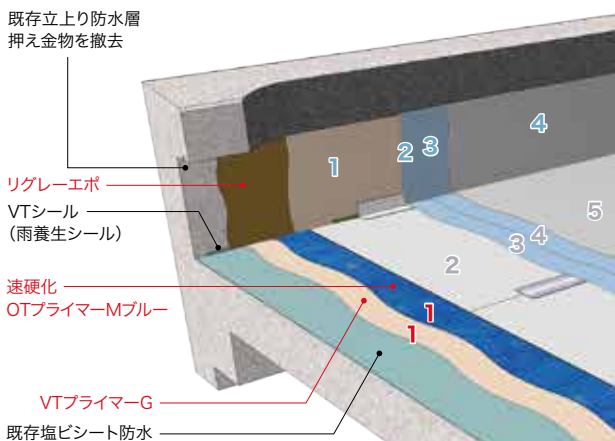
GOW-2VAの工程を一部変更 (単位:/m²)

平面部	第1工程のOTプライマー-A(0.2kg)をリベース(下地活性剤)(0.8~1.2kg)に変更
立上り部	第1工程の前に下地処理としてリグレーエポを塗布(1.5kg)※ 既存アスファルト防水のジョイント部にエンドラップテープ貼り

※立上り部全面にリグレーエポを塗布する前に、既存アスファルト防水のジョイント段差にリグレーエポを厚塗りして平滑に調整してください。

既存が塩ビシート防水の場合

〈標準施工〉

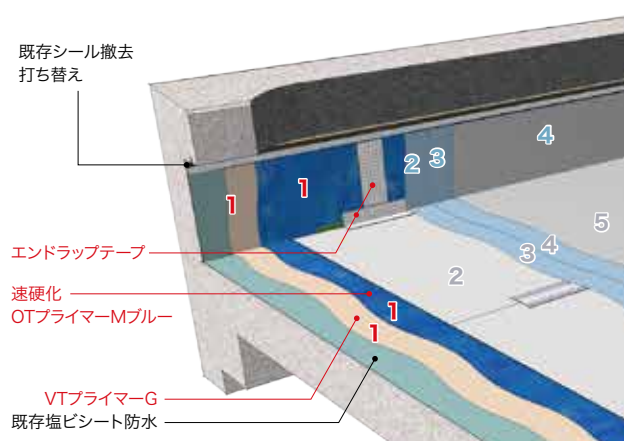


GOW-2VAの工程を一部変更 (単位:/m²)

平面部	第1工程のOTプライマー-A(0.2kg)をVTプライマー-G(0.1kg) + 速硬化OTプライマー-Mブルー(0.1kg)に変更
立上り部	第1工程の前に下地処理としてリグレーエポを塗布(1.5kg)

※ドレン廻りなど塩ビ被覆鋼板で固定されていない部分を撤去する場合には、平面部の既存塩ビシートが収縮するため、シート端部をフラットバー等でビス固定してください。

〈立上り部を撤去しない場合〉



GOW-2VAの工程を一部変更 (単位:/m²)

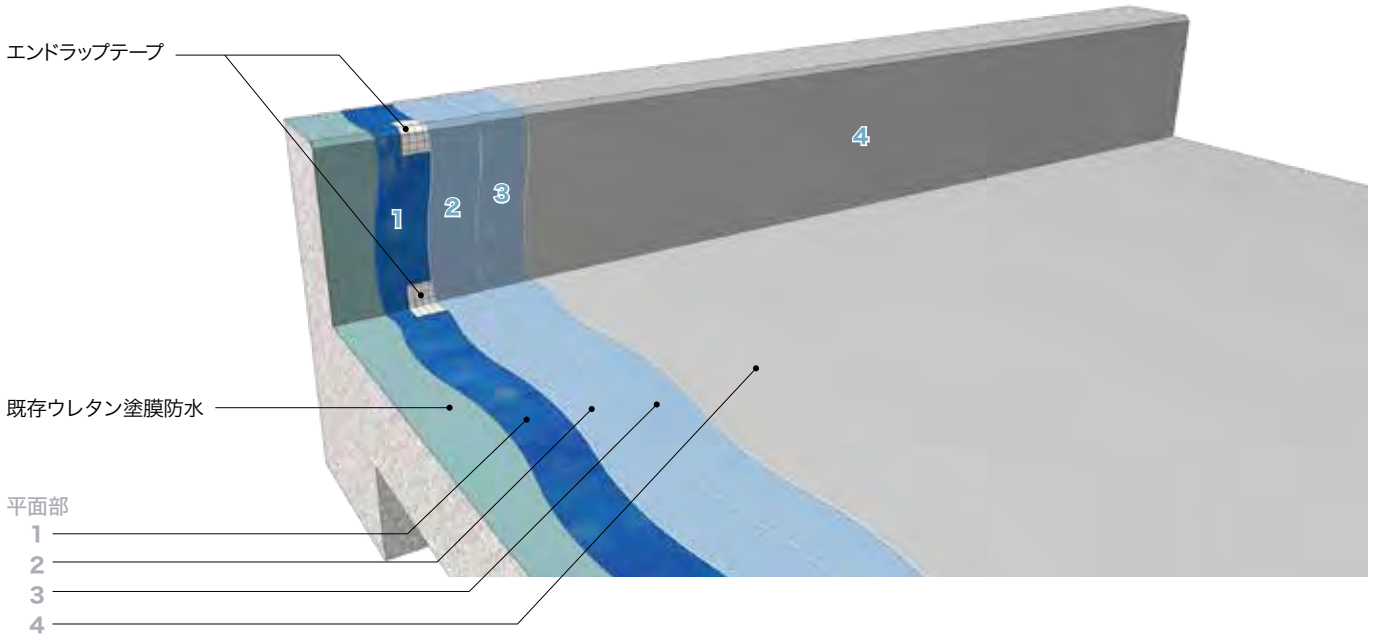
平面部	第1工程のOTプライマー-A(0.2kg)をVTプライマー-G(0.1kg) + 速硬化OTプライマー-Mブルー(0.1kg)に変更
立上り部	OTプライマー-A(0.2kg)をVTプライマー-G(0.1kg) + 速硬化OTプライマー-Mブルー(0.1kg)に変更 既存塩ビシート防水のジョイント部にエンドラップテープ貼り

※平面部および立上り部を撤去しない場合においては既存防水層のジョイント段差が仕上がりの表面に現れることがあります。あらかじめご了承のうえ、ご採用ください。
※既存防水の劣化が進行している場合は採用できない場合があります。27ページの「下地の条件について」をご確認いただき、詳細については弊社営業担当までご相談ください。
※設計価格が変更となります。設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。撤去費用や押え金物上のシーリングの打ち替えは別途計上してください。

密着工法

屋上、ルーフテラスにおける、既存ウレタン塗膜防水への増塗り工法

GOD-2VA 改修



GOD-2VA

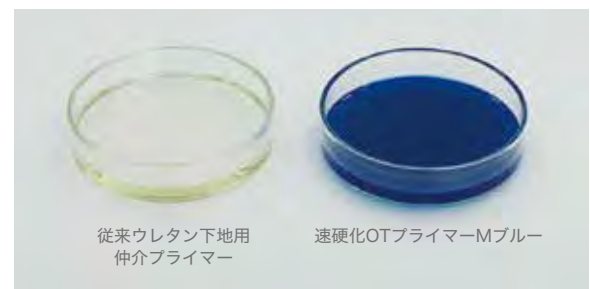


平面部		立上り部		(単位:/m ²)
1	速硬化OTプライマー Mブルー 0.1kg	速硬化OTプライマー Mブルー 0.1kg		
2	GO-JIN V 1.3kg	GO-JIN T 1.3kg		
3	GO-JIN V 1.3kg	GO-JIN T 1.3kg		
4	OTコートA 0.2kg	OTコートA 0.2kg		

※既存がウレタン塗膜防水の増塗りだけの仕様です。既存ウレタン防水の劣化状態によっては採用できない場合があります。(27ページ「下地の条件について」参照)
 ※工程1の後、入隅部、出隅部にはエンドラップテープを施工します。
 エンドラップテープの使用にあたっては、貼付け箇所形状に応じて50、100、200を使い分けてください。(29ページ参照)

速硬化OTプライマーMブルー

従来ウレタン下地用仲介プライマーに比べておよそ倍の速さで硬化するウレタン下地用仲介プライマーです。塗布した部分が識別しやすいように、青色に着色されています。



注意事項

- ・保護塗料はOTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については5ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- 硬化促進剤は専用の「GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤」を使用してください。詳しくは、18ページをご覧ください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)
- ・防滑性を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(1セットに対して1箱)してください。防滑処理後でも、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

密着工法

バルコニー、庇などに適した工法

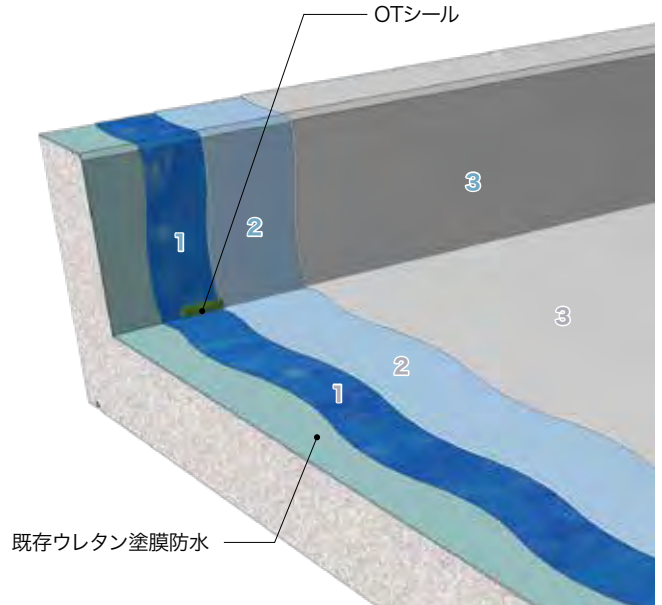
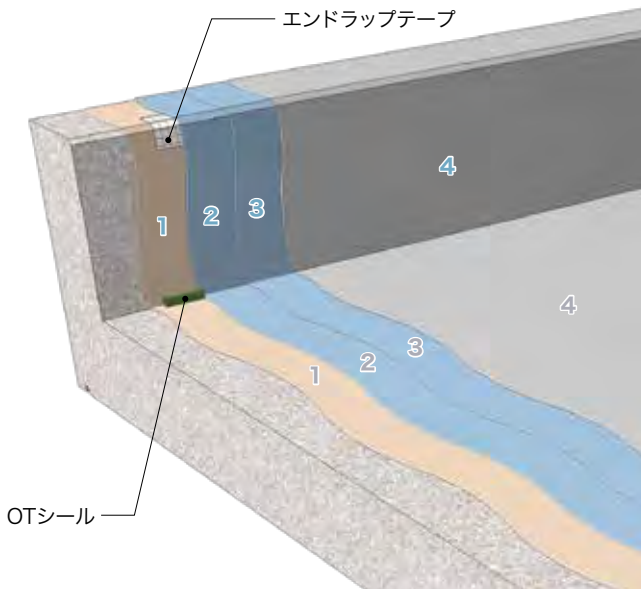
GO-2VA

新築

改修

GOD-1VA

改修



GO-2VA



	平面部		立上り部	(単位:/m ²)
1	OTプライマーA	0.2kg	OTプライマーA	0.2kg
2	GO-JIN V	1.3kg	GO-JIN T	1.3kg
3	GO-JIN V	1.3kg	GO-JIN T	1.3kg
4	OTコートA	0.2kg	OTコートA	0.2kg

※改修における既存ウレタン塗膜防水への増塗りの場合は、OTプライマーAに代えて、速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を使用します。
 ※膜厚確保のための出隅用のエンドラップテープは、規定の厚みが取れれば省略することができます。
 エンドラップテープの使用にあたっては、貼付け箇所の形状に応じて50、100、200を使い分けてください。(29ページ参照)

GOD-1VA



	平面部		立上り部	(単位:/m ²)
1	速硬化OTプライマーMブルー	0.1kg	速硬化OTプライマーMブルー	0.1kg
2	GO-JIN V	1.5kg	GO-JIN T	1.5kg
3	OTコートA	0.2kg	OTコートA	0.2kg

※既存ウレタン塗膜防水の増塗りのみの仕様です。既存ウレタン防水の劣化状態によっては採用できない場合があります。(27ページ「下地の条件について」参照)
 ※膜厚確保のための出隅用のエンドラップテープは、規定の厚みが取れれば省略することができます。
 エンドラップテープの使用にあたっては、貼付け箇所の形状に応じて50、100、200を使い分けてください。(29ページ参照)

注意事項

- ・下地勾配等諸条件により、GO-JIN V、GO-JIN Tを各種GO-JINに変更する場合があります。(GO-JIN V、GO-JIN T、GO-JIN HS 硬化物密度:1.3Mg/m³)
- ・気象条件や下地によって1工程目を使用するOTプライマーAを変更する場合があります。詳しくは、15ページをご覧ください。
- ・保護塗料はOTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については5ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・硬化促進剤は専用の「GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤」を使用してください。詳しくは、18ページをご覧ください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)
- ・防滑性を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(1セットに対して1箱)してください。
- ・防滑処理後でも、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

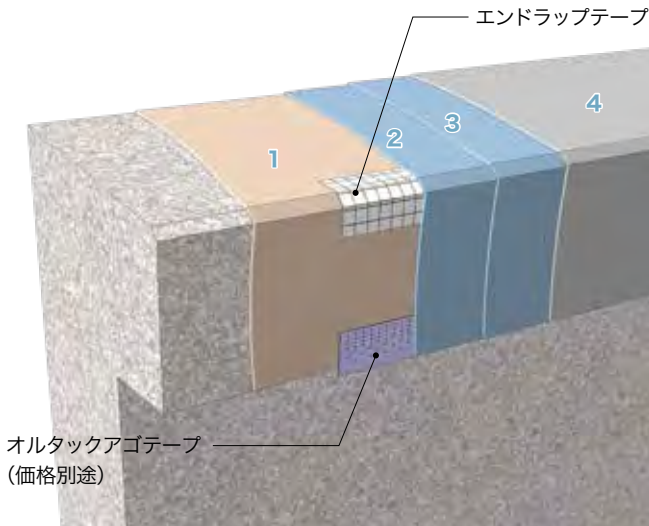
密着工法

パラベットの、架台天端に適した工法

GO-2TA

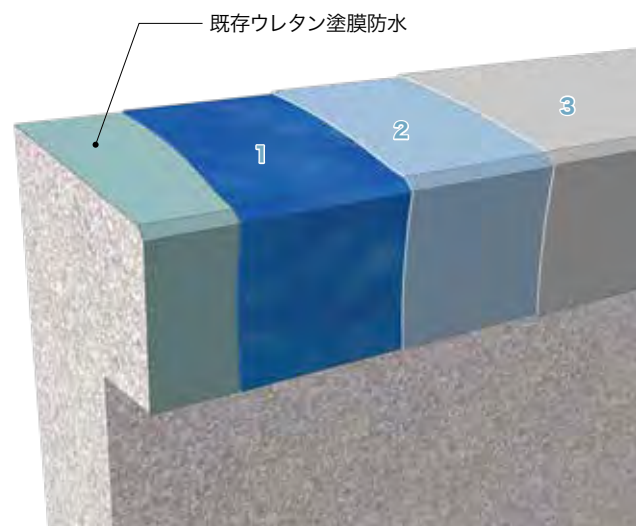
新築

改修



GOD-1TA

改修



GO-2TA



笠木部・架台天端部		(単位:/m ²)
1	OTプライマーA	0.2kg
2	GO-JIN T	1.3kg
3	GO-JIN T	1.3kg
4	OTコートA	0.2kg

※オルタックアゴテープは、パラベットの水切り目地が設けられていない場合に使用します。

※改修における既存ウレタン塗膜防水への増塗りの場合は、OTプライマーAに代えて、速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を使用します。

※膜厚確保のための出隅用のエンドラップテープは、規定の厚みが取れば省略することができます。

エンドラップテープの使用にあたっては、貼付け箇所形状に応じて50、100、200を使い分けてください。(29ページ参照)

GOD-1TA



笠木部・架台天端部		(単位:/m ²)
1	速硬化OTプライマーMブルー	0.1kg
2	GO-JIN T	1.5kg
3	OTコートA	0.2kg

※既存がウレタン塗膜防水の増塗りのみの仕様です。既存ウレタン防水の劣化状態によっては採用できない場合があります。(27ページ「下地の条件について」参照)

※OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。

※当仕様でアゴテープを使用する場合は、GO-JIN Tを増塗りし、テープの模様が残らないように施工してください。

※膜厚確保のための出隅用のエンドラップテープは、規定の厚みが取れば省略することができます。

エンドラップテープの使用にあたっては、貼付け箇所形状に応じて50、100、200を使い分けてください。(29ページ参照)

注意事項

・下地勾配等諸条件により、GO-JIN Tを各種GO-JINに変更する場合があります。(GO-JIN V、GO-JIN T、GO-JIN HS 硬化物比重:1.3)

・気象条件や下地によって1工程目を使用するOTプライマーAを変更する場合があります。詳しくは、15ページをご覧ください。

・保護塗料はOTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については5ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。

・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。

硬化促進剤は専用の「GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤」を使用してください。詳しくは、18ページをご覧ください。

・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。

(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)

・防滑性能を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(1セットに対して1箱)してください。

防滑処理後でも、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

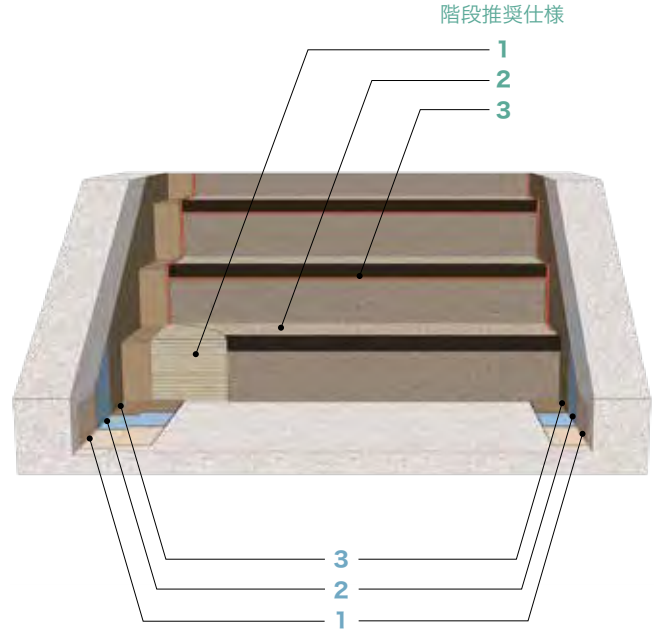
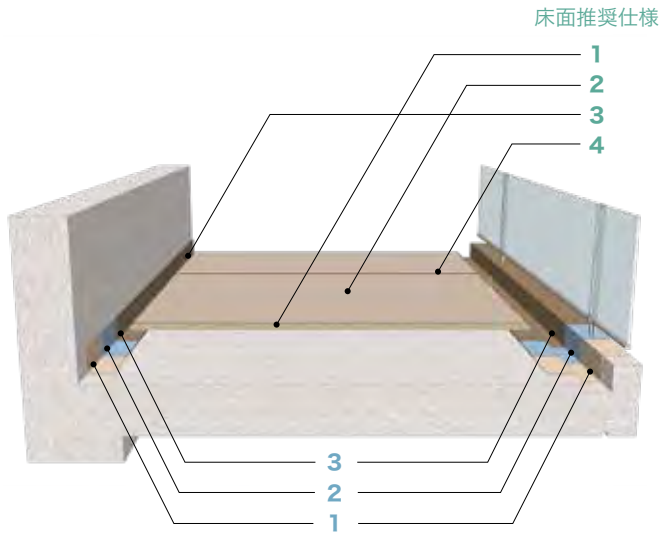
密着工法

共用廊下、階段などの巾木・側溝部位に適した工法

GO-1HSB

新築

改修



GO-1HSB



立上り部・側溝部・巾木		(単位:/m ²)
1	OTプライマーA	0.2kg
2	GO-JIN HS	1.5kg
3	OTコート防カビ	0.2kg

※改修における既存ウレタン塗膜防水への増塗りの場合は、OTプライマーAに代えて、速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を使用します。

床面推奨仕様:ピュージスタVP仕様		(単位:/m ²)
1	セメントVG	0.3~0.36kg
2	ピュージスタ	-
3	端末:VGシールMS	-
4	ジョイント:ピュージスタ溶接棒	-

階段推奨仕様:ピュージスタVPS仕様		(単位:/m ²)
1	セメントVG	0.3~0.36kg
2	ピュージスタ ステップ	-
3	端末:VGシールMS	-

※防滑性ビニル床シート「ピュージスタ」については、「ピュージスタ」のカタログをご参照ください。

注意事項

- ・下地勾配等諸条件により、GO-JIN HSを各種GO-JINに変更する場合があります。(GO-JIN V、GO-JIN T、GO-JIN HS 硬化物比重:1.3)
- ・気象条件や下地によって1工程目を使用するOTプライマーAを変更する場合があります。詳しくは、15ページをご覧ください。
- ・保護塗料はOTコート防カビのほか、OTコートシリコン防カビおよび各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については5ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・硬化促進剤は専用の「GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤」を使用してください。詳しくは、18ページをご覧ください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)
- ・防滑性を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(1セットに対して1箱)してください。
- ・防滑処理後でも、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

自動混合・圧送システムOSS

OSSシステムにより、屋上やバルコニーにウレタン塗膜防水材を直接圧送する工法。

GOW-2VA-OSS

平面部			立上り部		(単位:/m ²)
1	OTプライマーA	0.2kg	OTプライマーA	0.2kg	
2	オルタックシートGS	—	GO-JIN T	1.3kg	
3	GO-JIN 500/50	1.3kg	GO-JIN T	1.3kg	
4	GO-JIN 500/50	1.3kg	OTコートA	0.2kg	
5	OTコートA	0.2kg	—		

※立上り部工程1の後、入隅部、出隅部にはエンドラップテープを施工します。
 エンドラップテープの使用にあたっては、貼付け箇所形状に応じて、50、100、200を使い分けてください。(29ページ参照)

GOD-2VA-OSS

平面部			立上り部		(単位:/m ²)
1	速硬化OTプライマーMブルー	0.1kg	速硬化OTプライマーMブルー	0.1kg	
2	GO-JIN 500/50	1.3kg	GO-JIN T	1.3kg	
3	GO-JIN 500/50	1.3kg	GO-JIN T	1.3kg	
4	OTコートA	0.2kg	OTコートA	0.2kg	

※既存がウレタン塗膜防水の増塗りのみの仕様です。既存ウレタン防水の劣化状態によっては採用できない場合があります。(27ページ「下地の条件について」参照)
 ※工程1の後、入隅部、出隅部にはエンドラップテープを施工します。エンドラップテープの使用にあたっては、貼付け箇所形状に応じて50、100、200を使い分けてください。(29ページ参照)

GO-2VA-OSS

平面部			立上り部		(単位:/m ²)
1	OTプライマーA	0.2kg	OTプライマーA	0.2kg	
2	GO-JIN 500/50	1.3kg	GO-JIN T	1.3kg	
3	GO-JIN 500/50	1.3kg	GO-JIN T	1.3kg	
4	OTコートA	0.2kg	OTコートA	0.2kg	

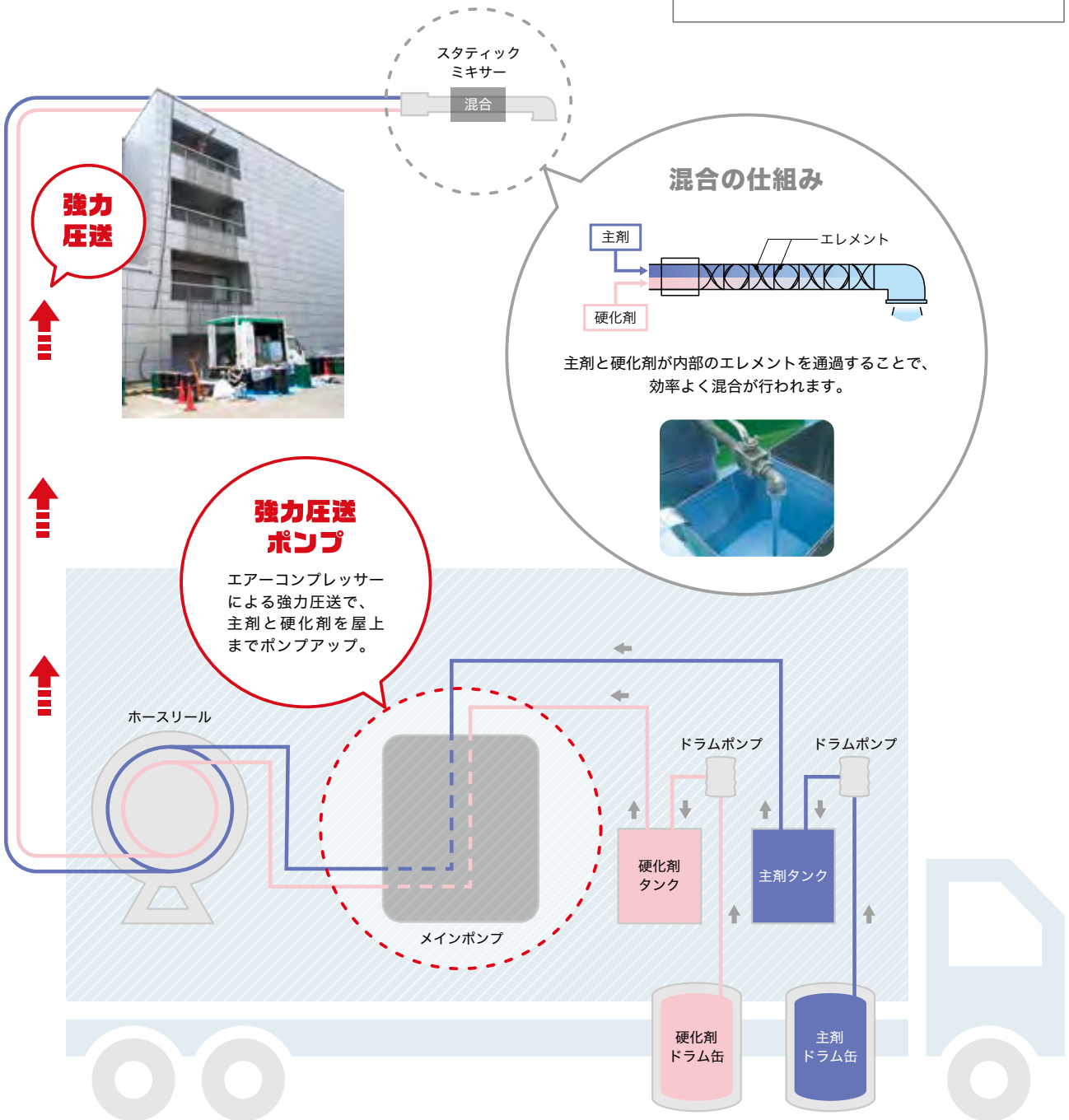
※改修における既存ウレタン塗膜防水への増塗りの場合は、OTプライマーAに代えて、速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を使用します。
 ※膜厚確保のための出隅用のエンドラップテープは、規定の厚みが取れれば省略することができます。
 エンドラップテープの使用にあたっては、貼付け箇所形状に応じて50、100、200を使い分けてください。(29ページ参照)

Oltac Supply System

オルタックサプライシステム(OSS)の概要



車両サイズ(2t) 全長:4.8m/幅:1.9m/
高さ:2.14m
吐出量 最大15kg/分
ホース長さ 全長80m
(最大120mまで延長可能)



材料の組合せ

下地・プライマーの適用表

下地	プライマー	プライマー							
	OTプライマー A	OTプライマー QQ	速硬化OTプライマー Mブルー*1	OTプライマー 水系18	VTプライマー G	プライマー BP	プライマー PG	水性プライマー AS	
下地の種類	コンクリートモルタル	○	○	×	○	○*2	×	×	○
	ウレタン防水	×	×	○	×	×	×	×	×
	塩ビシート防水	×	×	×	×	○*3	×	×	×
	加硫ゴム系シート防水	×	×	×	×	×	×	○*4	—*5
	ステンレス板	×	×	×	×	×	○	×	×
	銅	×	×	×	×	×	○	×	×
	アルミ板	×	×	×	×	×	○	×	×
	鉛板	×	×	×	×	×	○	×	×
	ガルバリウム鋼板	×	×	×	×	×	○	×	×
FRP	○*6	○*6	○*6	×	×	×	×	—*7	

- * 下地の乾燥を確認し、塵埃・油分等は除去してください。下地の材質によっては、サンディングや接着試験が必要な場合もあります。
- * 既存シート防水の上に施工する場合は、既存シートと下地との接着性を必ず確認してください。
- *1 速硬化OTプライマーMブルーの塗布量は0.1kg/m²です。
- *2 VTプライマーG(0.1kg/m²)を2回塗りしてください。
- *3 下地が塩ビシート防水「ビュートップ」の場合は、①VTプライマーG(0.1kg/m²)、②速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)の2層塗りとします。
- 下地塩ビシートが「ビュートップ」以外の場合は、接着試験を行ってください。
- *4 新規に施工された加硫ゴム系シート層への接着性を示しています。既存加硫ゴム系シート上に施工する場合は、必ず事前の接着試験を行ってください。
- *5 既存加硫ゴム系シート上に通気緩衝シートの施工を検討する場合は、弊社営業担当にご相談ください。
- *6 サンディングおよび粉塵のアセトン拭きの処理を行った上で必ず接着試験を行ってください。接着試験の結果や既存FRPの状況(剥離や割れなど)によって採用できないケースがあります。
- *7 既存FRPの上に通気緩衝シートの施工を検討する場合は弊社営業担当にご相談ください。

プライマー・防水材の適用表

プライマー	防水材	防水材				
		GO-JIN T	GO-JIN V	GO-JIN HS	GO-JIN	オルタックシート GS
プライマー	OTプライマーA	○	○	○	○	○
	OTプライマーQQ	○	○	○	○	○
	速硬化OTプライマー Mブルー	○	○	○	○	○
	OTプライマー水系18	○	○	○	○	×
	VTプライマーG*1	○	○	○	○	×
	プライマーBP	○	○	○	○	×
	プライマーPG	○	○	○	○	—*2
	水性プライマーAS	×	×	×	×	○

- * 防水材の塗り重ねは、17ページ「プライマーの乾燥・硬化時間」の表中「上塗り材施工可能時間」以内に完了してください。時間を過ぎた場合は、そのままプライマーを塗り重ねず、必ず目荒し・清掃してから速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。(水性プライマーASを除く)
- *1 コンクリートモルタル下地の場合は、VTプライマーG(0.1kg/m²)を2回塗りしてください。
- [下地が塩ビシート防水「ビュートップ」の場合は、①VTプライマーG(0.1kg/m²)、②速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)の2層塗りとします。]
- *2 既存加硫ゴム系シートの上に通気緩衝シートの施工を検討する場合は、弊社営業担当にご相談ください。

防水材・保護塗料の適用について

- ・保護塗料 OTコートA/速硬化OTコートA/OTコートクール/OTコートシリコン/速硬化OTコートシリコン/OTコートシリコンクール OTコートフッ素/OTコートフッ素クール/OTコート水系/OTコート防カビ/OTコートシリコン防カビは、全てGO-JIN類に塗り重ねできます。
- ・SPミネラコート、SPサーモコートは、速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を塗布することで、GO-JIN類に塗り重ねできます。
- ・保護塗料の塗布は17ページ「ウレタン防水材の乾燥・硬化時間」の表中「上塗り材施工可能時間」以内に完了してください。時間を過ぎた場合は、塵埃等を除去して速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。

防水材の塗り重ね

防水材の塗り重ね

上塗り		GO-JIN		オルタックエース			オルタックサンキュア		エクスパンド		オルタックスプレー	
		GO-JIN V/T/HS	GO-JIN 500/50	オルタックエース/UC/VR	立上り用オルタックエース	巾木・側溝用オルタックエース	オルタックサンキュアR/T/HS	オルタックサンキュア500/50	エクスパンドR/T	EXハードコート	オルタックスプレーFF/GG	
下塗り												
GO-JIN	GO-JIN V/T/HS	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	GO-JIN 500/50	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
オルタックエース	オルタックエース/UC/VR	○	○	○	○	○	○	M	○	×	○	
	立上り用オルタックエース	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	巾木・側溝用 オルタックエース	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
オルタックサンキュア	オルタックサンキュアR/T/HS	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	オルタックサンキュア 500/50	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
エクスパンド	エクスパンドR/T	○	○	M	M	M	M	M	○	○	M	
	EXハードコート	○	○	M	M	M	M	M	○	○	M	
オルタックスプレー	オルタックスプレーFF/GG	M	M	M	M	M	M	M	M	M	○	

※ 防水材の塗り重ねは17ページ「ウレタン防水材の乾燥・硬化時間」の表中「上塗り材施工可能時間」以内に完了してください。
時間を過ぎた場合は、塵埃等を除去して速硬化OTプライマーMブルー (0.1kg/m²) を塗布してください。

表の見方

○:左列の下地・材料にそのまま上行の材料を塗り重ねできます。

×:塗り重ねができません。

M:OTプライマーMまたは速硬化OTプライマーMブルーを塗布することで、塗り重ねができます。(0.1kg/m²)

—:弊社営業担当にお問合せください。

材料の乾燥・硬化時間

プライマーの乾燥・硬化時間

品名	項目	初期硬化時間		上塗り材施工可能時間	
	可使時間	23℃	5℃	夏季	冬季
OTプライマーA	－	3～4時間	6～8時間	3日以内	5日以内
速硬化OTプライマーMブルー	－	1時間	3～4時間	1日以内	3日以内
OTプライマーQQ	－	1時間	3～4時間	1日以内	3日以内
OTプライマー水系18	1時間	4～6時間	10～12時間	3日以内	5日以内
VTプライマーG	2時間	3～4時間	6～8時間	3日以内	5日以内
プライマーBP	－	20分	1時間	2日以内	5日以内
プライマーPG	1.5時間	2時間	4時間	7日以内	10日以内

- 可使時間 …… 材料を混合してからの使用可能な時間です。
- 初期硬化時間 …… タックフリーとなり、次工程作業を開始できる時間です。
- 上塗り材施工可能時間 …… 時間内にウレタン防水材の施工を完了してください。
時間を過ぎてしまった場合は、サンディング・清掃してから速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。
- 注意 …… 一度開栓したプライマーはできるだけ当日中に使い切ってください。

ウレタン防水材の乾燥・硬化時間

品名	項目	初期硬化時間		上塗り材施工可能時間	
	可使時間	23℃	23℃	夏季	冬季
GO-JIN V	45分	13時間	13時間	2日以内	5日以内
GO-JIN T	55分	5時間	5時間	2日以内	5日以内
GO-JIN HS	55分	5時間	5時間	2日以内	5日以内
GO-JIN 500/50	45分	13時間	13時間	2日以内	5日以内

- 可使時間 …… 材料を混合してからの使用可能な時間です。
- 初期硬化時間 …… タックフリーとなり次工程作業を開始できる時間です。
※初期硬化前に重量物を上に載せないでください。塗膜にへこみ等の変形が生じる可能性があります。
- 上塗り材施工可能時間 …… 時間内に防水材塗り重ね、あるいは保護塗料の施工を完了してください。
時間を過ぎてしまった場合は、速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。
- 注意 …… 一度開栓した防水材はできるだけ当日中に使い切ってください。防水材は計量後、直ちに混合攪拌を行ってください。

保護塗料の乾燥・硬化時間

品名	項目	初期硬化時間		開放時間	
	可使時間	23℃	5℃	夏季	冬季
OTコートA/OTコート防カビ	4時間	3時間	5時間	5時間	12時間
速硬化OTコートA	2時間	1.5時間	3時間	2時間	5時間
OTコートシリコンクール/ OTコートシリコン/防カビ	4時間	3時間	5時間	5時間	12時間
速硬化OTコートシリコン	2時間	1.5時間	3時間	2時間	5時間
OTコートクール/OTコート フッ素/OTコートフッ素クール	4時間	3時間	5時間	5時間	12時間
OTコート水系	1時間	4時間	8時間	5時間	12時間

- 可使時間 …… 材料を混合してからの使用可能な時間です。
- 初期硬化時間 …… 上に乗って養生テープの撤去作業等ができますが、十分な強度は発現していませんので、靴底でひねったりしないよう歩行に注意してください。
- 開放時間 …… 一般開放できる時間です。
- 注意 …… 一度開栓したプライマーはできるだけ当日中に使い切ってください。保護塗料は計量後、直ちに混合攪拌を行ってください。
可使時間を過ぎた場合は、仕上がりに影響が出る場合がありますので、使用しないでください。

硬化時間などは目安であり、日射や通風によって異なる場合があります。

硬化促進剤の使用方法について

「GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤」を加えることで、硬化を促進することができます。
GO-JINには、春夏秋用と冬用の季別があります。

※GO-JIN主剤の製品ラベルには、製造日番号と季別の「春夏秋」「冬」が表示されています。
※硬化剤は通年用のため季別表示はありません。



表示例▶ 製造日 **220401-00 春夏秋**

GO-JIN (春夏秋用)

(%表示は重量比)

気温	20kgセットあたりの 「GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤」の添加量	初期硬化時間	
		GO-JIN V(春夏秋用)	GO-JIN T(春夏秋用)
23℃	なし	13時間	5時間
	500cc(2.5%)	6時間	3時間
	1,000cc(5.0%)	5時間	2.5時間
10℃	なし	22時間	14時間
	500cc(2.5%)	14時間	7時間
	1,000cc(5.0%)	11時間	5.5時間
5℃	なし	28時間	20時間
	500cc(2.5%)	20時間	13時間
	1,000cc(5.0%)	17時間	10時間
GO-JIN HS(春夏秋用)			
23℃	なし	5時間	
	400cc(2.0%)	3.5時間	
10℃	なし	14時間	
	400cc(2.0%)	8時間	
5℃	なし	20時間	
	400cc(2.0%)	14時間	

GO-JIN (冬用)

(%表示は重量比)

気温	20kgセットあたりの 「GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤」の添加量	初期硬化時間	
		GO-JIN V(冬用)	GO-JIN T(冬用)
10℃	なし	14時間	9時間
	500cc(2.5%)	12.5時間	6時間
	1,000cc(5.0%)	11時間	5時間
5℃	なし	18時間	13時間
	500cc(2.5%)	16時間	9時間
	1,000cc(5.0%)	14時間	7.5時間
GO-JIN HS(冬用)			
10℃	なし	9時間	
	400cc(2.0%)	6.5時間	
5℃	なし	13時間	
	400cc(2.0%)	9.5時間	

*初期硬化時間 V: 歩行可能時間 T/HS: 2層目または保護塗料施工可能時間

※「GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤」以外の硬化促進剤は使用しないでください。

※「GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤」の添加は5%までとしてください。

過剰に添加した場合、可使時間や物性の低下につながり、ピンホール等も発生しやすくなります。

※GO-JIN V、TにアジャストE(減粘剤)を添加する場合は、硬化促進剤との添加量の合計を5%までとしてください。(GO-JIN HSの場合は2%以内)

材料紹介 ウレタン防水材／添加剤／プライマー

GO-JIN V

F☆☆☆☆




 特非
 有非
 鉛非

主剤と硬化剤の混合比率が1:1.5の高靱性平面部用ウレタン防水材。鉛非含有による高耐久化と特化則・有機則非該当の環境性能を両立。

20kg/セット (主剤:8kg、硬化剤:12kg)
 配合比 1:1.5
 硬化物比重 1.3 季別:春夏秋冬

GO-JIN T

F☆☆☆☆




 特非
 有非
 鉛非

高靱性立上り用ウレタン防水材。チクソ性が高いためダレにくく、鉛非含有による高耐久化と特化則・有機則非該当の環境性能を両立。

20kg/セット (主剤:8kg、硬化剤:12kg)
 配合比 1:1.5
 硬化物比重 1.3 季別:春夏秋冬

GO-JIN HS

F☆☆☆☆




 特非
 有非
 鉛非

狭い巾木や側溝、パラペット天端等の施工に適したレベリング特性。鉛非含有による高耐久化と特化則・有機則非該当の環境性能を両立。

20kg/セット (主剤:8kg、硬化剤:12kg)
 配合比 1:1.5
 硬化物比重 1.3 季別:春夏秋冬

GO-JIN T 6kg

F☆☆☆☆




 特非
 有非
 鉛非

高靱性立上り用ウレタン防水材の6kgセット。主剤を硬化剤缶に投入し、缶ごとVibraシステムにセットして混合できる。

6kg/セット (主剤:2.4kg、硬化剤:3.6kg)
 配合比 1:1.5 硬化物比重 1.3
 季別:春夏秋冬 ※受注生産品(納期約1ヵ月)

GO-JIN HS 6kg

F☆☆☆☆




 特非
 有非
 鉛非

巾木・側溝・パラペット天端等に適した高靱性ウレタン防水材の6kgセット。主剤を硬化剤缶に投入し、缶ごとVibraシステムにセットして混合できる。

6kg/セット (主剤:2.4kg、硬化剤:3.6kg)
 配合比 1:1.5 硬化物比重 1.3
 季別:春夏秋冬 ※受注生産品(納期約1ヵ月)

GO-JIN500/50

F☆☆☆☆




 特非
 有非
 鉛非

OSS(自動混合・圧送システム)用の高靱性ウレタン防水材。

500 450kg/セット (主剤:172kg、硬化剤:278kg)
 50 31kg/セット (主剤:12kg、硬化剤:19kg)
 硬化物比重 1.3 季別:春夏秋冬
 ※受注生産品

GO-JIN・エキスパンド用硬化促進剤

F☆☆☆☆




特非
 有非
 鉛非

硬化促進用の添加剤。

7kg/缶
 *添加量は現場の気温等の条件により異なるので、缶ラベルに記載の「添加量表」を参照のうえ、適正量を厳守して使用ください。

アジャストE

F☆☆☆☆



特非
 有非
 鉛非

オルタック防水専用の粘度調整剤。

13kg/缶
 *粘度調整時の添加量は、重量比5%までです。

オルタックトナーバック

F☆☆☆☆




特非
 有非
 鉛非

GO-JINに添加し、工程の区別を容易にする調色材。

400gバック×5袋/箱(計量カップ付)
 *添加量は硬化剤に対し0.5%程度

OTプライマー-A

F☆☆☆☆



特非
 有非
 鉛非

コンクリート、モルタル下地用。四季を問わず通年で使用できる1液型のウレタン系プライマー。

16kg/缶

速硬化OTプライマー-Mブルー

F☆☆☆☆



特非
 有非
 鉛非

塗布した部分が識別しやすい青色に着色した速乾性の既存ウレタン防水用伸介プライマー。

8kg/缶

OTプライマー-QQ

F☆☆☆☆



特非
 有非
 鉛非

コンクリート、モルタル下地用の速乾性ウレタン系プライマー。冬季の施工にも適している。

16kg/缶

／保護塗料

OTプライマー水系18

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

ウレタン防水用に開発された2液型のエポキシ系水性プライマー。

18kg/セット (主剤:12kg、硬化剤:6kg)
 ※受注生産品

VTプライマーG

F☆☆☆☆



特非
鉛非

架台廻りウレタン塗膜防水併用工法に使用するアクリルウレタン系2液硬化型プライマー。硬化剤をグレーに着色。

6kg/セット (主剤:2kg、硬化剤:4kg)

OTコートA

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

2液反応型アクリルウレタン系保護塗料。有機則に該当する溶剤を一切使用しない新環境対応型。

14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)
 *OTコートA タッチアップ 700gセット (標準色4色のみ)もあり

OTコートAつやあり

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

2液反応型アクリルウレタン系つやあり保護塗料。有機則に該当する溶剤を一切使用しない新環境対応型。

14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)
 *OTコートAつやあり タッチアップ 700gセット (標準色4色のみ)もあり

速硬化OTコートA

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

2液反応速硬化型アクリルウレタン系保護塗料。有機則に該当する溶剤を一切使用しない新環境対応型。

14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)

OTコートクール

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

日射反射率50%を超える、高反射2液反応型アクリルウレタン系保護塗料。有機則に該当する溶剤を一切使用しない。

14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)

OTコートシリコン

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

シリコン変性アクリルウレタン系保護塗料。耐候性、耐久性においてフッ素系保護塗料と同等の性能を有する。

14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)
 *OTコートシリコン タッチアップ 700gセット (3色)もあり

速硬化OTコートシリコン

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

2液反応速硬化型シリコン変性アクリルウレタン系保護塗料。フッ素保護塗料と同等の性能を有する。

14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)

OTコートシリコンクール

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

フッ素系保護塗料同等の耐久性に加え、日射反射率が50%を超える、高耐久・高反射型シリコン変性アクリルウレタン系保護塗料。

14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)

OTコートフッ素/フッ素クール

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

2液反応型高耐久フッ素樹脂系保護塗料。フッ素クールは、高反射機能品(受注生産品)。

各14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)

OTコート水系

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

2液反応型アクリルウレタン系水性塗料。

11kg/セット
 (主剤:1kg、硬化剤:10kg、減粘剤:500ccボトル)
 ※受注生産品

OTコート防カビ/OTコートシリコン防カビ

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

2液反応型アクリルウレタン系保護塗料。施工性はそのままに、防カビ・防藻機能をプラスした新たな機能付き保護塗料。

各14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)
 ※受注生産品

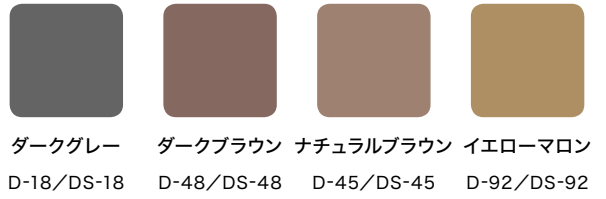
保護塗料カラーバリエーション

OTコートA(色番:D)◆/OTコートAつやあり(色番:DT)★/速硬化OTコートA(色番:DS)◆

【標準在庫品】



【受注生産品】*

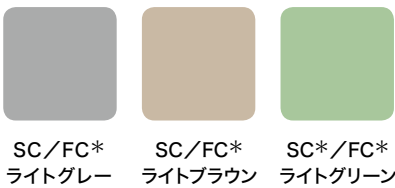


※OTコート防カビ(色番:BK◆)4色 *受注生産品
OTコート防カビつやあり(色番:BT★)4色 *受注生産品

OTコートシリコン(色番:E)★ 速硬化OTコートシリコン(色番:ES)★



OTコートシリコンクール(色番:SC)★ OTコートフッ素クール(色番:FC)★

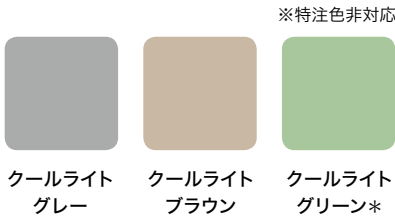


OTコートフッ素★



※OTコートシリコン防カビ★(色番:BE)3色 *受注生産品

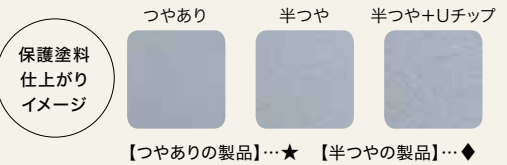
OTコートクール◆



OTコート水系★



保護塗料は製品により、「つやありタイプ」と「半つやタイプ」に分かれます。また、防滑性を高めるために粗面仕上げ用のチップ材を添加することがあります。



SPサーモコート



SPスーパーサーモコート



SPミネラコート



*受注後納期1週間以内です。価格が割増となります。

※SPサーモコート、SPスーパーサーモコートは、塗布量が0.6~1.0kg/m²(2回塗り計)となります。

※SPサーモコート、SPスーパーサーモコート、SPミネラコート塗布前には、OTコートに代えて速硬化OTプライマーMブルーを0.1kg/m²塗布します。

高反射保護塗料の日射反射率

品名	色名称	日射反射率(%)	
		近赤外領域※1(780~2,500nm)	全波長領域(300~2,500nm)
OTコートシリコンクール(SC) OTコートフッ素クール(FC)	SC/FCライトグレー	71.3(SC)/72.1(FC)	53.2(SC)/53.7(FC)
	SC/FCライトブラウン	67.9(SC)/72.1(FC)	52.8(SC)/54.9(FC)
	SC/FCライトグリーン	66.8(SC)/71.2(FC)	55.6(SC)/57.5(FC)
OTコートクール	クールライトグレー	66.4	50.6
	クールライトブラウン	65.9	51.2
	クールライトグリーン	67.3	55.9
SPスーパーサーモコート	サーモホワイト	80.0	81.0
SPサーモコート	サーモグレー	77.5	61.8
	サーモアイボリー	76.9	69.8
	サーモグリーン	75.9	64.5

(財)日本塗料検査協会試験による、塗料単体の反射率です。

※1 近赤外領域は全波長領域の中でも特に熱に変換されやすく、この領域を多く反射する方が遮熱効果に優れていることとなります。

※各見本の色は印刷上現物と幾分の色差がありますのでご決定の際は現物見本等をご確認ください。

緩衝シート／下地処理材／副資材／工具

オルタックシートGS



複合防水の下貼り用通気緩衝シート。軽量で寸法安定性が高く、裏面はゴムアスのストライプ状粘着層。下地追従性に優れ、水分の拡散効果を発揮。

1m×20m巻
厚さ:1.0mm(ストライプ粘着層を含む)

リグレー・ネオ／リグレー・ネオ パウダー



下地補修用SBR系ポリマーセメントモルタル。リグレー・ネオ(SBR系混和液)とパウダーを混練して使用。※水を添加しないでください。

リグレー・ネオ 18kg/缶
リグレー・ネオ パウダー 厚塗り用:20kg/袋
薄塗り用:20kg/袋

リグレーエポ



荒れたコンクリート等の下地はもちろん、タイル、金属材などに被膜を形成。各種下地材への接着性に優れた水性エポキシ系の下地調整材。

28kg/セット
(主剤:4kg、硬化剤:4kg、パウダー:20kg)
*シルバー塗料の上には使用できません。

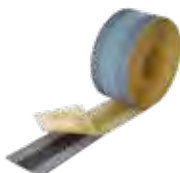
エンドラップテープ50／100／200



強靭なガラスメッシュの片側に粘着層をコーティングした補強テープ。

50mm×50m巻
100mm×50m巻
200mm×50m巻

テープGS



オルタックシートGSに使用する、フィルムタイプの粘着層付ジョイントテープ。

80mm×80m巻

オルタックアゴテープ



パラベットアゴ下専用の粘着層付水切りテープ。

48mm×50m巻
厚さ:0.14mm

OTシール



オルタックシート端末部に施工する、速乾性1液のウレタン系シーリング材。

320ccカートリッジ
20本/梱包

Uチップ/Mチップ



保護塗料に混入する粗面仕上げ用チップ。

Uチップ:300g/箱
Mチップ:420g/箱
(保護塗料14kgセットに対し1箱添加)

GO-JINクシゴテ 1.3／1.5／1.9／2.0



クシの目形状により、一定量を塗布できるプラスチック製のGO-JIN専用クシゴテ。

1.3kg用、1.5kg用、1.9kg用、2.0kg用
クシ幅:300mm
各2枚/袋

GO-JINレーキセット



所定量を迅速に塗布できるGO-JIN専用レーキ。柄は市販品を使用。

固定具、レーキ刷毛
(1.3kg用、1.5kg用、1.9kg用、2.0kg用 各1枚)/
セット

GO-JINレーキ用刷毛 1.3kg用／1.5kg用／1.9kg用／2.0kg用



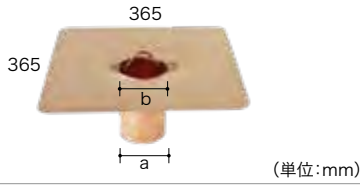
GO-JINレーキ用の交換刷毛。

1.3kg用、1.5kg用、1.9kg用、2.0kg用
レーキ刷毛幅:600mm
各5枚/セット

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

改修用ドレン／脱気筒

リードレンZたて



リードレンキャップZたての軸心部と連結

連結式の改修工事用たて型銅製ドレン。丸棒部でドレンキャップと連結する。既存ドレン上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

1個/箱 標準品5サイズ
*「リードレンキャップZたて」以外との組合せ使用不可。

リードレンZたて 規格

呼称	60	65	75	80	95
外径(a)/mm	58	64	74	80	95
内径(b)/mm	56	62	72	78	92
許容最大屋根面積(m ²)	90	118	176	218	339

※上記サイズの他に35・45・50・120・130・140・150・160タイプを特注品として作成できます。(納期約3週間)

リードレンZ横



リードレンキャップZ横の軸心部と連結

連結式の改修工事用横型銅製ドレン。丸棒部でドレンキャップと連結し、既存ドレン上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

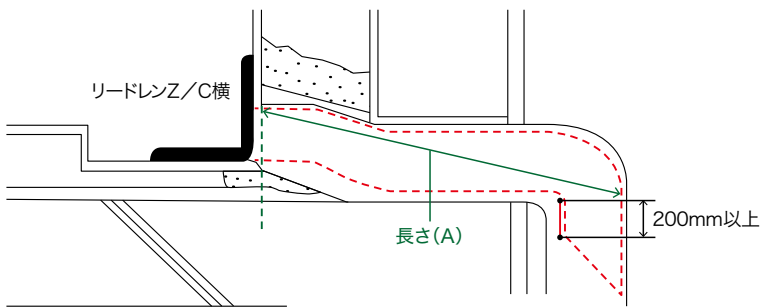
1個/箱 標準品3サイズ
*「リードレンキャップZ横」以外との組合せ使用不可。

リードレンZ横 規格

呼称	60	75	90	
ホース 外径(a)/mm	60	73	86	
筒 内径(b)/mm	49	60	73	
配管勾配ごとの許容最大屋根面積(m ²)	1/25	65	111	187
	1/50	46	78	132
	1/75	—	64	108
	1/100	—	—	93

※上記サイズの他に35・40・50・100・115・140タイプを特注品として作成できます。(納期約3週間)

リードレンZ/C横 施工上の注意



◀リードレンZ/C横のフレキシブルホースは、エルボより下に落とし込んでください。落とし込んでいない場合、水が逆流する可能性があります。高まります。(左図参照)

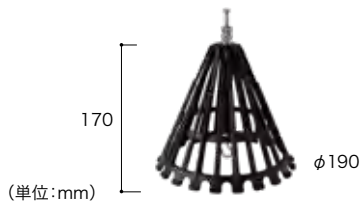
「リードレンZ/C横」は、ドレン設置位置から排水管のエルボ外端までが**400mmを超える場合、受注生産となります。**

(納期約3週間)

現場にて左図の「長さ(A)+200mm以上」をご確認の上、発注時にホースの“有効長さ”をご指定ください。

(500mm以上100mm単位)

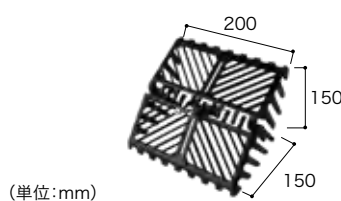
リードレンキャップZたて



リードレンZ専用の連結式縦引用キャップ。軸芯部のJフックをリードレンZの丸棒部に掛け、Wナット締めで連結固定する。アルミダイキャスト製。

1個/箱
*「リードレンZたて」以外との組合せは使用不可。

リードレンキャップZ横



リードレンZ専用の連結式横引用キャップ。中央のJフックで連結固定する。納まりに合わせてキャップの角度調節が可能。アルミダイキャスト製。

1個/箱
*「リードレンZ横」以外との組合せは使用不可。

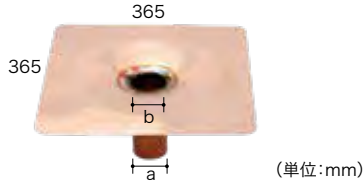
ドレンゲージ DX



既存ドレンに差し込むだけでリードレンZ/Cたておよび横の適正サイズがわかる。既存ドレン内径測定器。

1個/箱
収納時 長さ210mm
リールキーホルダー付属

リードレンCたて



改修工事用たて型銅製ドレン。
既存ドレンの上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

13サイズあり(標準品は5サイズ)
*詳細については「改修用ドレンカタログ」をご参照ください。

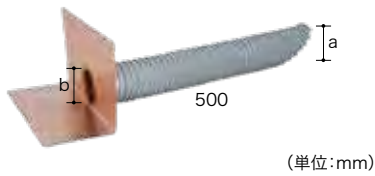
リードレンCたて 規格

(単位:mm)

呼称	35※	45※	50※	60	65	75	80	95	120※
外径(a)	35	45	50	58	64	74	80	95	119
内径(b)	33	43	48	56	62	72	78	92	117
許容最大屋根面積(m ²)	22	44	60	90	118	176	218	339	645

※受注生産品(※)は納期約2週間。その他、130・140・150・160タイプも受注生産でご利用しています。
※既存ドレンの内径を採寸し、リードレンの筒外径が既存ドレン内径より小さいサイズを選定してください。

リードレンC横



改修工事用横型銅製ドレン。
既存ドレンの上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

7サイズあり(標準品は3サイズ)
*詳細については「改修用ドレンカタログ」をご参照ください。

リードレンC横 規格

(単位:mm)

呼称	40※	50※	60	75	90	115※	140※
ホース 外径(a)	40	46	60	73	86	112	137
筒 内径(b)	30	36	49	60	73	99	124
配管勾配ごとの許容最大屋根面積(m ²)	1/25	17	28	65	111	187	—
	1/50	—	—	46	78	132	298
	1/75	—	—	—	64	108	243
	1/100	—	—	—	—	93	211
	1/125	—	—	—	—	—	188
	1/150	—	—	—	—	—	172
	1/200	—	—	—	—	—	271

※受注生産品(※)は納期約2週間。上記サイズの他に、35・100タイプを特注品として作成できます。(納期約3週間)
※既存ドレンの内径を採寸し、リードレンの筒外径が既存ドレン内径より小さいサイズを選定してください。

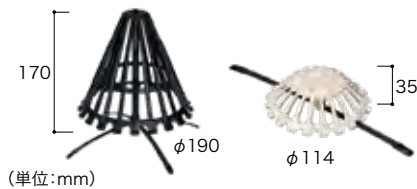
トルネードドレンたて80/90



改修用排水量改善たて型二重ドレン。排水口の羽根形状で排水量を増加する画期的な構造。新築時の直径100mm縦引きドレンと同等の排水力。

各1個/箱
(キャップ、専用ナット、専用シリコンゴム付)

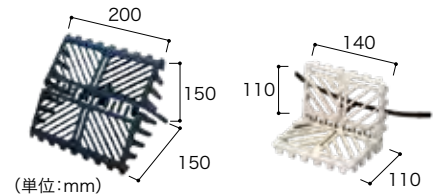
ドレンキャップ190/たてAS



アルミダイキャスト製縦引き用ドレンキャップ。
ステンレス製板バネ(樹脂製キャップ付)をドレン内部に差し込んで設置。

ドレンキャップ190 色:黒 1個/箱
ドレンキャップたてAS 色:黒、ライトグレー 5個/箱

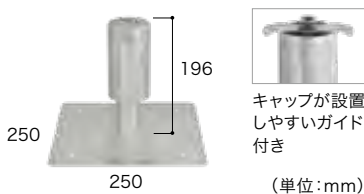
ドレンキャップ横引用C200/AS



角度調節ができるアルミダイキャスト製ドレンキャップ。
固定用ステンレス製板バネ付。

ドレンキャップ横引用C200 色:黒 1個/箱
ドレンキャップ横引用AS 色:ライトグレー 1個/箱

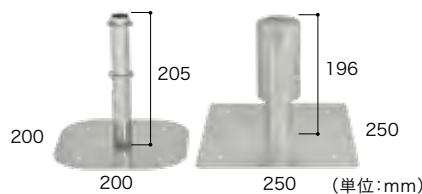
ステンレスペーパスII



防水層のフクレを解消するための平面部用ステンレス製通気材。全体の形状を小型・軽量化したコンパクト設計。70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱
*逆流防止弁付(ステンレスペーパスG/GW)、積雪寒冷地(北海道・東北・北陸エリアおよび新潟県)対応については「ペーパスカタログ」をご覧ください。

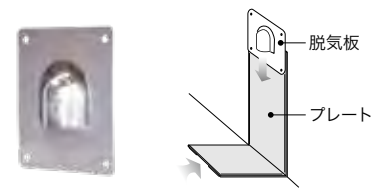
ステンレスペーパスWII



断熱工法に使用する、二重式の平面部用ステンレス製通気材。全体の形状を小型・軽量化したコンパクト設計。70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱

立上用ステンレスペーパス



オルタック防水用の立上り部用脱気システム部材。
脱気板の設置高さは150~400mmまで対応可能。
立上り面へは10m間隔で設置。

脱気板(120×130mm)4個、アンカー16本、
プレート(120×500mm)4枚/箱

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

材料一覧

種類	品名	規格	備考
ウレタン塗膜防水材料	GO-JIN V	20kg/セット(主剤:8kg、硬化剤:12kg)	高靱性ウレタン防水材料 配合比1:1.5 硬化物比重1.3 JIS A 6021
	GO-JIN T	20kg/セット(主剤:8kg、硬化剤:12kg)	高靱性立上り用ウレタン防水材料 配合比1:1.5 硬化物比重1.3 JIS A 6021
	GO-JIN HS	20kg/セット(主剤:8kg、硬化剤:12kg)	高靱性巾木側溝用ウレタン防水材料 配合比1:1.5 硬化物比重1.3 JIS A 6021
	GO-JIN T 6kg	6kg/セット(主剤:2.4kg、硬化剤:3.6kg)	高靱性立上り用ウレタン防水材料 配合比1:1.5 硬化物比重1.3 JIS A 6021 受注生産品
	GO-JIN HS 6kg	6kg/セット(主剤:2.4kg、硬化剤:3.6kg)	高靱性巾木側溝用ウレタン防水材料 配合比1:1.5 硬化物比重1.3 JIS A 6021 受注生産品
	GO-JIN 500	450kg/セット(主剤:172kg、硬化剤:278kg)	高靱性OSS用ウレタン防水材料 配合比1:1.5 硬化物比重1.3 JIS A 6021
	GO-JIN 50	31kg/セット(主剤:12kg、硬化剤:19kg)	
プライマー	OTプライマーA	16kg/缶	ウレタン系プライマー(コンクリート、モルタル下地用)
	OTプライマーQQ	16kg/缶	速硬化型ウレタン系プライマー (コンクリート、モルタル下地用)
	速硬化OTプライマーMブルー	8kg/缶	速硬化型青色着色ウレタン系伸介プライマー (ウレタン下地用)
	VTプライマーG	6kg/セット(主剤:2kg、硬化剤:4kg)	アクリルウレタン系プライマー(塩ビシート下地用)
	プライマーBP	0.45kg/缶、16kg/缶	ウレタン系プライマー(金属下地用) 受注生産品(16kg/缶)
	KYプライマーエポ金属用	10kg/セット (主剤:8kg、硬化剤:2kg)	エポキシ系プライマー(金属下地用、さび止め用) 配合比 主剤:硬化剤:専用希釈剤=8:2:1(質量比)
	KYプライマーエポ用希釈剤	13.5kg/缶	KYプライマーエポ金属用 専用希釈剤
	プライマーPG	6kg/セット(主剤:4kg、硬化剤:2kg)	エポキシ系プライマー(加硫ゴム系シート下地用)
	OTプライマー水系18	18kg/セット(主剤:12kg、硬化剤:6kg)	水性エポキシ系プライマー (コンクリート、モルタル下地用) 受注生産品
保護塗料	OTコートA	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	アクリルウレタン系保護塗料 色:標準色4色(半つや) 受注生産品4色(半つや)
	OTコートAつやあり	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	アクリルウレタン系保護塗料 色:4色(つやあり)
	OTコート防カビ OTコート防カビつやあり	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	防カビ防藻機能付アクリル系保護塗料 色:4色(半つや/つやあり) 受注生産品
	OTコートクール	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高反射型アクリルウレタン系保護塗料 色:標準色2色(半つや) 受注生産色1色(半つや)
	速硬化OTコートシリコーン	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	速硬化・高耐久シリコーン変性アクリルウレタン系 保護塗料 色:3色(つやあり)
	OTコートシリコーン	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高耐久シリコーン変性アクリルウレタン系保護塗料 色:3色(つやあり)
	OTコートシリコーン防カビ	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	防カビ防藻機能付シリコーン変性アクリル系保護塗料 色:3色(つやあり) 受注生産品
	OTコートシリコーンクール	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高耐久・高反射型シリコーン変性アクリルウレタン系 保護塗料 色:標準色2色(つやあり) 受注生産色1色(つやあり)
	OTコートフッ素	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高耐久フッ素樹脂系保護塗料 色:標準色1色(つやあり) 受注生産色2色(つやあり)
	OTコートフッ素クール	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高反射型高耐久フッ素樹脂系保護塗料 受注生産品
	OTコート水系	11kg/セット (主剤:1kg、硬化剤:10kg、減粘剤:500cc)	水性アクリルウレタン系保護塗料 色:2色(つやあり) 受注生産品

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
 ※オルタックシート類につきましては、納品時に一定の割合で1ヵ所切断している製品(2ピース品)が混在しておりますので、ご了承ください。

種類	品名	規格	備考
シート類	オルタックシートGS	1m×20m巻	絶縁用粘着層付複合防水下貼りシート
テープ材・シール材	テープGS	80mm×80m巻	オルタックシートGS用ジョイントテープ
	エンドラップテープ50/100/200	50/100/200mm×50m巻	粘着層付補強用ガラスメッシュテープ
	オルタックアゴテープ	48mm×50m巻	バラベッタアゴ下地専用水切りテープ
	OTシール	320ccカートリッジ 20本/梱包	ウレタン系シーリング材(速乾性1液)
添加剤	GO-JIN・エキスバンド用硬化促進剤	7kg/缶	専用硬化促進剤
	アジャストE	13kg/缶	減粘剤
脱気筒・ドレン	ステンレスペーパスNII/N	各1個/箱	平面部用通気材
	ステンレスペーパスWII/W	各1個/箱	平面部用通気材(断熱工法用)
	ステンレスペーパスG	1個/箱	逆流防止弁付 平面部用通気材 受注生産品
	ステンレスペーパスGW	1個/箱	逆流防止弁付 平面部用通気材(断熱工法用) 受注生産品
	立上り用ステンレスペーパス	4セット/箱	立上り部用通気材
	ステンレスタイ362	長さ:362mm 20本/袋 簡易工具同梱	ステンレスペーパスNII/WII設置時 防水層端部締結ステンレス製バンド
	リードレンZたて/横	各1個	連結式改修用銅製ドレン
	リードレンキャップZたて/横	各1個	リードレンZ専用連結式キャップ 色:黒
	リードレンCたて/横	各1個	改修用銅製ドレン
	ドレンキャップ190	1個/箱	タテ型用キャップ(大) 色:黒
	ドレンキャップたてAS	5個/箱	タテ型用キャップ(小) 色:黒、ライトグレー
	ドレンキャップ横引用C200	1個	横引用キャップ 色:黒
	ドレンキャップ横引用AS	1個	横引用キャップ 色:ライトグレー
	ドレンキャップ横引用DX	1個 重量:5kg	横引用キャップ(据置型)
トルネードドレンたて80/90	筒外径:80,88mm 1個/箱	改修用排水量改善タテ型ドレン (キャップ、専用ナット、シリコンゴム付)	
下地処理材等	リグレー・ネオ	18kg/缶	下地調整用ポリマーセメントモルタル SBR系混和液
	リグレー・ネオ パウダー 厚塗り用	20kg/袋	下地調整用ポリマーセメントモルタル 粗粉体
	リグレー・ネオ パウダー 薄塗り用	20kg/袋	下地調整用ポリマーセメントモルタル 細粉体
	リグレーエボ	28kg/セット (主剤:4kg、硬化剤:4kg、パウダー:20kg)	下地調整用速硬型水性エポキシ系樹脂モルタル
	マルチグラント	10kg/箱	既存防水撤去後の仮防水材
	グラントパウダー	12kg/袋	速硬化特殊セメント粉体・骨材
	メジバス	90mm×1m 厚さ:0.3mm 100枚/箱	アルミ製改修工専用目地処理材
工具	STEMガード(黒色)/ (銀色)	STEMガードポリマー充填材 (主剤:2.1kg、硬化剤:0.9kg、パウダー:8.4kg)、 ホルダーツールSTEMカバー(黒、銀) 各60個	手摺支柱根元充填材(手摺支柱約60本分)
	GO-JINレーキセット	固定具 1.3、1.5、1.9、2.0kg用刷毛 各1枚/セット	ウレタン塗膜防水材塗布用
	GO-JINレーキ用刷毛 1.3/1.5/1.9/2.0kg用	各5枚/セット	ウレタン塗膜防水材塗布用
	GO-JINクシゴテ 1.3/1.5/1.9/2.0	各2枚/袋	ウレタン塗膜防水材塗布用

製品の取扱いと施工についての注意事項

施工時の安全について

- 作業現場周辺には、関係者以外は立ち入らないようにしてください。
- 風通しが良くない箇所では施工する場合は、換気を十分に行い、場合によって防毒マスクなど安全対策に留意してください。
- 作業時には、作業服、ヘルメット、保護手袋を着用し、材料が目に入らないように保護眼鏡を着用してください。
- 材料が皮膚に付いた場合は、石鹸などでよく洗い流してください。

下地の条件について

〈共通〉

- 下地が十分に乾いていることを確認してください。
- 平面部のコンクリートは平坦でこてむらがなく、浮き、レイタンス、脆弱部および突起部などの欠陥がない良好な状態であることを確認してください。
- 立上りは凹凸の少ない良好な面とし、目違い部はグラインダー掛けなどにより調整してください。
- 下地の清掃を入念に行い、接着の妨げとなるちり、ほこり、油脂、汚れ、錆びなどが無いことを確認してください。
- 防水下地は、水が溜まることなくすみやかに排水されることを確認してください。
- 立上り端部の納まりは水切りが良好であることを条件とし、壁立上り部は納まり用のハツリを行ってください。(ハツリ深さは躯体コンクリート面までの深さとする。)
- ドレン廻りの勾配が悪い場合は、ドレン廻りの保護層、旧防水層を撤去し修正してください。

〈既存防水層を撤去しない仕様を検討する際の留意点〉

- 下記①～⑧の条件から勘案し、既存防水層を撤去しない仕様が適用できない場合は、既存防水層を撤去し、下地をつくり直した上で新規防水層を施工するなど防水仕様を再検討ください。既存防水層を撤去しない仕様採用の可否は弊社営業担当までご相談ください。
- ①既存ウレタン防水の劣化が進行し、接着力が全体的に著しく低下している場合は採用できません。
- ②既存塩ビシートの場合、劣化の進行程度や既存の塩ビシートの種類によっては接着しないことがありますので、事前にプライマーの接着試験をおすすめします。
- ③既存塩ビシート(密着工法)の劣化が進行し、全体的に接着力が低下している場合は採用できません。
- ④既存塩ビシートが硬化収縮し、ジョイント部分が剥離している場合は採用できません。
- ⑤既存塩ビシート絶縁工法の固定ビスに緩み、抜けがある場合は採用できません。
- ⑥既存塩ビシートが硬化収縮し著しいシワ、突張り、フクレがみられる場合は採用できません。
- ⑦既存アスファルト防水の表面劣化が進行し、著しい砂落ち、マッドカーリング、ガマ肌などの現象が生じている場合は採用できません。
- ⑧既存アスファルト防水に著しいシワ、フクレがみられる場合は採用できません。

下地の処理方法について

〈共通〉

- 下地の小さいひび割れ(1.0mm未満)はウレタンシーリング(OTシール)を擦り込んでください。(通気緩衝シートを採用する場合は除く) 1.0mm以上のひび割れはUカットしてウレタンシーリング(OTシール)を充填、2mm以上の場合は、補強布(メッシュUB等)を用いて補強塗りを行ってください。
- 入隅は直角に仕上げていることを確認してください。出隅はR面または5mm程度以上の面取りを行ってください。
- 金属部分に関しては金属の錆び、塗料、メッキなどを剥がし、金属用プライマーを使用してください。モルタル等との取合い部分は、Uカットしてハツリ、ウレタンシーリング(OTシール)を充填してください。
- 貫通パイプが金属製の場合は、ウレタン防水材を施工する50mm位までの範囲の錆び、塗料を剥がし、金属プライマーを使用してください。樹脂パイプの場合は、目荒らしの上、専用プライマー(VTプライマーGなど)を使用してください。
- PC、ALCの目地部は、密着工法で施工する場合、絶縁テープと補強布(エンドラップテープ等)を用いて補強塗りを行ってください。
- 伸縮目地の旧目地材は撤去して、バックアップ材を詰めてから、ウレタンシーリング材、もしくはウレタン防水材に珪砂を混入したウレタンモルタル等を充填するか、目地通気用アルミ板(メジパス)を用いて処理してください。
- 下地コンクリートなどの押し上げがある場合は、ハツリ、サンダー掛けで平らにならしてください。
- 化粧目地に大きい段差や凹凸がある場合はサンダーで削るかポリマーセメントモルタルで埋めてください。化粧目地にはウレタンシーリング材(OTシール)やポリマーセメントモルタル(リグレー・ネオ、リグレーエポ)を充填し、平滑にしてください。

〈GOW-2VA:標準施工の下地処理〉

- 既存防水層を高圧洗浄などで汚れを十分に落としてください。
- 既存防水層の立上り部、押え金物、シーリングは撤去し、雨仕舞を確実に行ってください。
- 立上り防水撤去部はポリマーセメントモルタル(リグレー・ネオ、リグレーエポ)にて下地調整を行ってください。
- 既存塩ビシート絶縁工法の立上り部を撤去した場合、入り隅部分のシートが収縮する傾向にあるので、既存入隅鋼板がシートの収縮により、変形や外れのないように補強してください。
- ドレン廻りの防水層は撤去、既存ドレンを下地処理の上再利用するか、改修用ドレン(リードレン)を使用してください。
- 軽微なフクレ、シワ、剥離部分は、切開の上貼り戻すか、撤去して同種の防水材料で増貼りを行ってください。

〈GOW-2VA:立上り防水層を撤去しない場合の下地処理〉

- GOW-2VA仕様においては、基本的に立上り防水層は撤去としますが、(既存がウレタン防水の場合は除く)防水層撤去時の漏水リスク軽減などの理由で立上り防水層を非撤去で行う場合は、事前に発注者、監理者などに承認を得た上で進めてください。(公共建築改修工事標準仕様書においても既存がウレタン塗膜防水の場合を除き、立上り防水層は撤去となっておりますので特に官公庁工事ではご注意ください)

※かぶせ密着工法のため、既存防水層と躯体の接着力を補強する機能はありません。既存立上り防水層の接着力低下による脱落防止のための補強や端末押え金物のやり替えが必要な場合があります。(端末シーリングは必ず打ち替えてください。)

施工時の注意点と仕上りについて

- 下地に応じて適切なプライマーを選定してください。(詳細は15ページをご覧ください。)既存の下地との接着は、状況によって事前に接着試験を行う事をおすすめします。また下地の劣化程度が著しい場合は、既存下地層を撤去、モルタル修正を要することがあります。
- ウレタン塗膜防水材の塗布後に、降雨や夜露にさらされた場合は、乾燥後清掃の後、仲介プライマー(速硬化OTプライマーMブルー)を塗布してください。
- 気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、専用減粘材「アジャストE」を規定量の範囲で使用ください。
※一般の溶剤(トルエン、キシレン)は使用しないでください。
- ウレタン防水材の硬化を速める場合には、専用の硬化促進剤「GO-JIN・エキスパンド用硬化促進剤」を規定量の範囲でご使用ください。
- ウレタン防水材の攪拌は規定の配合比を守り、出力が大きい攪拌機で低速で攪拌してください。回転が速いとエアを巻き込み、ピンホールの発生原因となります。
- 防水層を長持ちさせるために、OTコートA仕上げの場合は、7年程で再度塗り替えることをおすすめします。OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クール仕上げの場合は10年間塗り替え不要です。
- 防滑性能を求める場合には、UチップまたはMチップをOTコート類(OTコート類1セットに対して1箱)に添加してください。ただし、防滑性能を保証するものではありません。降雨後などで水が防水層表面にある場合は滑ることがありますのでご注意ください。
- 改修用ドレン(リードレンZ/C、トルネードドレン)を用いる場合は、エンドラップテープを併用し、塗り掛け幅を100mm以上確保してください。
- 「リードレンZ/C横」のフレキシブルホースはエルボより下に落とし込んでください。落とし込んでいない場合、水が逆流する可能性が高まります。
- 通気緩衝シート(オルタックシートGS)は下地に良く馴染ませて、浮き、シワのないように転圧ローラーなどで十分転圧してください。
- 通気緩衝シート(オルタックシートGS)同士は5mm程度あけて貼付けます。
- 通気緩衝シート(オルタックシートGS)は立上りの入り隅から10mm程度離して貼付けます。
- 通気緩衝シート(オルタックシートGS)の端部は雨水の流入がないように、雨仕舞をして一日の作業を終了してください。
- ウレタン防水材の施工後、塗膜上を歩ける状態であっても硬化が完全に進んでいないことがあるため、一斗缶を置くと缶の跡が残ることがあります。(特に低温時)施工計画の中でやむを得ず塗膜上に一斗缶等を置く場合には、缶を段積みせず、ベニヤ板を2枚敷いて保護するなど適切な養生を行ってください。
- 複合法では、フクレ防止のため下記いずれかの脱気筒を設置してください。
平場:ステンレスペーパス(70m²に1ヵ所程度)立上り:立上り用ステンレスペーパス(10m間隔程度)
- 既存防水層を撤去しない場合(かぶせ工法)においては、既存がウレタン塗膜防水の場合を除き、既存のアスファルト防水層や塩ビシート防水層の段差などが表面の仕上げに影響します。平滑な仕上げを要望される場合には、既存防水層を撤去し、下地をつくり直した上で新規防水層を施工するか複合法などを選択するなど防水仕様を再検討ください。

○出隅、入隅のシール (OTシール) および膜厚確保のためのエンドラップテープの貼付けについては下図をご参照ください。

出隅・入隅部の納まり図例

※エンドラップテープの使用にあたっては、貼付け箇所の形状に応じて50、100、200を使い分けてください。
 ※エンドラップテープに代えて、メッシュUB、メッシュUBソフトを使用する場合は、下塗りとしてGO-JIN Tを0.3kg/m²塗布してください。

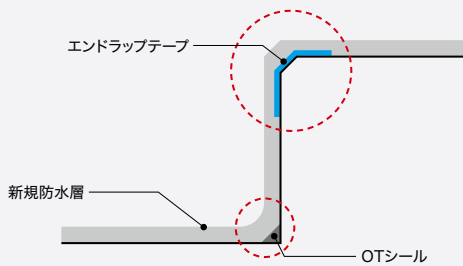
GO-2VA・GO-2TA・GOD-1VA・GOD-1TA

出隅：膜厚確保用としてエンドラップテープ※を使用する。

入隅：OTシールを使用する。

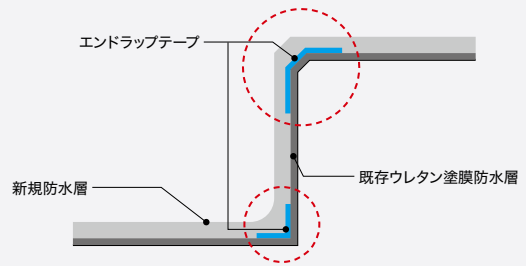
*規定厚みがとればエンドラップテープを省略できます。

*GO-1HSAには、出隅の処理は不要です。



GOW-2VA・GOD-2VA

膜厚確保のため、出隅、入隅にはエンドラップテープ※を使用する。



配合比(主剤:硬化剤=1:1.5)を守り、電動攪拌機を使用して、必ず均一な色になるまで攪拌する

*GO-JINを希釈する場合は、以下の溶剤(アジャストE)添加量内としてください。

GO-JIN HS : 2%以内

GO-JIN V、GO-JIN T : 5%以内

材料の貯蔵・現場保管について

- 材料は直射日光や風雨にさらされる場所を避け、保存、保管してください。
- 材料の保管場所へは、作業員以外立ち入り禁止とし、火気厳禁など安全対策を実施してください。
- 冬季に凍結の恐れがある水性の製品は、屋内に置くなど注意してください。
- 材料の取扱いについては、材料ラベルや安全データシートを参照の上、適切に取扱ってください。
- 一部の材料を除き消防法の規制を受けます。危険物区分に則り取扱い、指定数量を超える場合は、所定の手続きを行って保管してください。
- 施工中または硬化養生中に降雨、夜露にさらされる可能性がある場合は、硬化後の物性低下や材料の流出などを防止するために施工を控えてください。
- 一度開封した材料は、使い切ってください。
- 廃材の処分は、産業廃棄物として適切に行ってください。

通常ご使用時の注意点

- GO-JIN防水層の上を歩行する場合は、ゴム底等の底が柔らかい履き物を使用してください。
- 重量物、振動する物や鋭利な物を、防水層の上に置かないでください。
- 漏水の原因となりますので、鋭利な物で防水層を傷つけたり、物を落としたり引き摺ったりしないでください。
- 防水層が劣化しますので、防水層の上に溶剤・薬品類をこぼしたり流したりしないでください。
- 防水層の上で火を燃やしたり、タバコを投げ捨てたりしないでください。
- 他の屋根の排水を防水層上に流さないでください。また、フラワーポット等、常時水が流れる物を置かないでください。
- 防水層の上に客土して草木の栽培を行わないでください。
- 防水層の表面に水や雪等があると滑りやすくなりますので、歩行には注意してください。
- 防水層の仕上げとして、SPミネラコート、ステップ等をご採用の場合も、防水層の取扱いは上記事項を遵守してください。

メンテナンスのお願い

- 防水層に苔・草等を生やさないように、側溝・ドレン周辺に土砂等がたまったら、定期的に取り除いてください。
- 防水層の端末、排水ドレン周辺は、半年毎に点検を実施し、異常があった場合はご相談ください。
- 防水層の仕上げ塗料については、定期的に専門技術者へ点検を依頼し、必要と判断された場合には、同一塗料での塗り替えをおすすめします。
- 防水層の点検・補修・仕上げ塗料の再塗布には、専門技術が必要です。当社または工事をした防水施工業者へ依頼してください(有償)。

環境対応について

GO-JINは特定化学物質障害予防規則に該当していません

特定化学物質障害予防規則

労働安全衛生法に基づき、特定化学物質の安全基準を定めた厚生労働省令です。

特定化学物質を日常的に取扱う作業者の健康障害を発生させる可能性が高い物質として労働安全衛生法施行令で定められているものであり、特定化学物質障害予防規則の適用を受ける材料は作業主任者の選任などの措置を行うことが求められます。

GO-JINは特定化学物質障害予防規則に該当しない製品です。

GO-JINは厚生労働省、文部科学省などでシックハウス(室内空気汚染)の原因として指定されている物質を含有していません

厚生労働省がシックハウス問題に関する検討会で、濃度指針値を策定した物質

化学物質	室内濃度指針値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	GO-JIN
ホルムアルデヒド	100	無配合
トルエン	260	無配合
キシレン	200	無配合
エチルベンゼン	3800	無配合
スチレン	220	無配合
フタル酸ジ-n-ブチル	17	無配合
テトラデカン	330	無配合
アセトアルデヒド	48	無配合
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100	無配合
パラジクロロベンゼン	240	無配合
ダイアジノン	0.29	無配合
フェノブカルブ	33	無配合
クロルピリホス	1	無配合

(2023年5月現在)

※ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンは文部科学省「学校環境衛生基準」の測定対象物質に該当。

※ホルムアルデヒド、クロルピリホスは、国土交通省「建築基準法」の規制対象物質に該当。

シックハウスに関わる室内濃度指針値

新築時やリフォーム時に使用された建材や内装材が含有する化学物質によって室内空気が汚染され、頭痛や吐き気などの症状を引き起こすことをシックハウス症候群と言い、学校や保育園でこのような症状が発生するとシックスクールと呼ばれます。

厚生労働省では平成12年4月よりシックハウス(室内空気汚染)問題に関する検討会が開催され、有害物質についてのガイドラインが話し合われており、現在までに13の有害物質の濃度指針値を定めています。GO-JINの材料ではこれら13物質を使用しておりません。

学校環境衛生基準

学校保険安全法の規定に基づいて定められた基準で、学校における環境衛生管理の徹底を目的としているものです。

教室等の環境に係わる基準として、空気中の揮発有機化合物を検査する項目が定められており、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレンについて、1年に1回検査することとしています。濃度の基準は、厚生労働省の室内濃度指針値と同値を採用しています。

GO-JINはシックハウスの対応において最高評価のF☆☆☆☆を取得しています

F☆☆☆☆

シックハウスへの対応として平成15年に建築基準法が改定され、第28条の規定に基づき「居室の内装仕上げ」に対して建築材料の使用制限が定められました。規制対象としてクロルピリホス(主な用途:白蟻駆除剤)の使用が禁止され、ホルムアルデヒドは放散速度により4段階※が設けられました。

GO-JINの材料は、日本ウレタン建材工業会の自主規制申請登録制度により、最高等級であるF☆☆☆☆表示の認定を受けています。

※無等級・F☆☆・F☆☆☆・F☆☆☆☆の4段階。☆の数により使用面積が制限されており、☆が多いほど広い面積に使用することができます。

北海道防水改修事業センター

東北防水改修工事協同組合

関東防水管理事業協同組合

東海防水改修工事協同組合

北陸防水改修事業センター

関西防水管理事業協同組合

中国防水改修事業センター

九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社
https://tajima.jp

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1
TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6
TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8
TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1
TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113
TEL 045-651-5245

多摩営業所

〒190-0022 立川市錦町1-12-20
TEL 042-503-9111

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29
TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16
TEL 052-220-0933

神戸営業所

〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-17
TEL 078-330-6866

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10
TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
TEL 092-724-8111

カタログ掲載上のおことわり

- ・印刷の色味は現物と異なる場合があります。
- ・各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
- ・各仕様ページの工程図は、工程を分かりやすく示すことを目的としたイメージ図です。下地や材料の形状・寸法・色は実際と異なります。